

官報

號外

昭和二年二月二十七日 日曜日

內閣印刷局

○第五十二回衆議院議事速記第十八號

帝國議會

昭和二年二月二十六日(土曜日)午後一時十分開議

議事日程 第十七號

昭和二年二月二十六日

午後一時開議

- 第一 大正九年法律第五十三號中改正法律案(關稅法等ノ朝鮮ニ於ケル特例ニ關スル件)(政府提出) 第一讀會
- 第二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
- 第三 花柳病豫防法案(政府提出) 第一讀會
- 第四 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
- 第五 兌換銀行券整理法案(政府提出) 第一讀會
- 第六 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
- 第七 家畜傳染病豫防法中改正法律案(政府提出) 第一讀會
- 第八 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
- 第九 土地收用法中改正法律案(政府提出) 第一讀會
- 第十 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
- 第十一 商法中改正法律案(三浦數平君提出) 第一讀會
- 第十二 恩給法中改正法律案(長峰與一君外三名提出) 第一讀會
- 第十三 恩給法中改正法律案(松實喜代太君外三名提出) 第一讀會
- 第十四 治安警察法中改正法律案(山杓儀重君外四名提出) 第一讀會

- 第十五 大正十四年法律第四十七號衆議院議員選舉法中改正法律案(坂東幸太郎君外三名提出) 第一讀會
- 第十六 架空索道ノ抵當ニ關スル法律案(清瀨一郎君提出) 第一讀會
- 第十七 被害水田改良事業助成法案(星廉平君外二名提出) 第一讀會
- 第十八 金鷄勳章年金ニ關スル法律案(古川清君外二名提出) 第一讀會
- 第十九 北海道御料拂下地免租年期ニ關スル法律案(東武君外三名提出) 第一讀會
- 第二十 議院法中改正法律案(小川平吉君外二十六名提出) 第一讀會
- 第二十一 義務教育年限延長ニ關スル建議案(增田義一君提出)
- 第二十二 郡山市ニ高等工業學校設置ニ關スル建議案(栗山博君外六名提出)
- 第二十三 郡山市ニ高等師範學校設置ニ關スル建議案(栗山博君外五名提出)
- 第二十四 奈良縣ニ藥學專門學校建設ニ關スル建議案(福井甚三君外二名提出)
- 第二十五 國立蠶絲大學設置ニ關スル建議案(藤原和市君外五名提出)
- 第二十六 福井縣小濱ニ高等水產學校設置ニ關スル建議案(山口嘉七君外二名提出)
- 第二十七 福島市ニ高等蠶絲學校設置ニ關スル建議案(大島要三君外六名提出)

- 第二十八 岡山市ニ綜合中國帝國大學設置ニ關スル建議案(清水長鄉君提出)
- 第二十九 金澤市ニ綜合大學設置ニ關スル建議案(佐藤實君外四名提出)
- 第三十 盛岡市ニ高等師範學校設置ニ關スル建議案(柏田忠一君外四名提出)
- 第三十一 松江市ニ山陰帝國大學設置ニ關スル建議案(原夫次郎君外二名提出)
- 第三十二 仙臺市ニ高等師範學校設置ニ關スル建議案(内ヶ崎作三郎君外三名提出)
- 第三十三 廣島市ニ女子專門學校設置ニ關スル建議案(江藤榮吉君提出)
- 第三十四 廣島市ニ綜合大學設置ニ關スル建議案(江藤榮吉君提出)
- 第三十五 西宮市ニ綜合大學設置ニ關スル建議案(前田房之助君外四名提出)
- 第三十六 遞信大學設立ニ關スル建議案(作間耕逸君提出)
- 第三十七 福岡市ニ高等師範學校設置ニ關スル建議案(大里廣次郎君提出)
- 第三十八 熊本市ニ高等師範學校設置ニ關スル建議案(藤井敬慎君提出)
- 第三十九 北海道綜合大學ノ完成並高等教育機關設置ニ關スル建議案(東武君外三名提出)
- 第四十 文政改革ニ關スル建議案(藤原和市君外三名提出)
- 第四十一 國定教科書中略字採用及字音假名造改正ニ關スル建議案(曾田義一君提出)
- 第四十二 書道振興ニ關スル建議案(山宮藤吉君外二名提出)

- 第四十三 民族博物館設立ニ關スル建議案(山杓儀重君提出)
- 第四十四 滋賀縣伊吹山高層氣象觀測所國營移管ニ關スル建議案(井上敬之助君外二名提出)
- 第四十五 體育運動獎勵ニ關スル建議案(牧野良三君外五名提出)
- 第四十六 私學獎勵ニ關スル建議案(山下谷次君提出)
- 第四十七 明治六年地租改正條例ニ依ル土地丈量立替費用償還ニ關スル建議案(土屋達清三郎君提出)
- 第四十八 國有雜種財產處分ニ關スル建議案(大島要三君外七名提出)
- 第四十九 稅務官ノ待遇改善ニ關スル建議案(大島要三君外七名提出)
- 第五十 國稅徵收交付金增額ニ關スル建議案(八田宗吉君提出)
- 第五十一 葉煙草賠償價格增額ニ關スル建議案(中林友信君外四名提出)
- 第五十二 不良鹽田整理ニ關スル建議案(山下谷次君提出)
- 第五十三 飛行事業擴張ニ關スル建議案(長岡外史君提出)
- 第五十四 國防審議會設置ニ關スル建議案(長岡外史君提出)
- 第五十五 國防會議設置ニ關スル建議案(蟻川五郎君提出)
- 第五十六 陸海軍現役兵及豫後備兵優遇並在鄉軍人會國庫補助ニ關スル建議案(三善清之助外七名君提出)
- 第五十七 海洋調查機關整備ニ關スル建議案(小西和君外一名提出)
- 第五十八 勞働省設置ニ關スル建議案(清瀨一郎君提出)
- 第五十九 我々國國號ノ統一顯正ニ關スル建議案(由谷義治君提出)

第六十 我々帝國國號ノ稱呼使用ニ關スル建議案(熊谷五右衛門君外一名提出)

第六十一 恩給法改正ニ關スル建議案(湯淺凡平君提出)

第六十二 恩給其ノ他ノ恩典ニ屬員在職年數通算ニ關スル建議案(青木精一君提出)

第六十三 一時賜金撥兵ニ對スル恩給支給法制定ニ關スル建議案(山下谷次君外一名提出)

第六十四 軍人傷痍記章令中改正ニ關スル建議案(山下谷次君外一名提出)

○議長(粕谷義三君) 諸般ノ報告ヲ致サセマス

(書記官朗讀)

一昨二十五日貴族院ヨリ受領シタル政府提出案左ノ如シ

土地收用法中改正法律案

一政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

電氣事業法中改正法律案

(以上二月二十六日提出)

一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

大正十二年法律第五十二號中改正法律案

(司法官試補及辯護士ノ資格ニ關スル件)

提出者 橫山勝太郎君 熊谷 直太君

工藤 鐵男君 原 惣兵衛君

永田新之允君 藏園三四郎君

千葉 三郎君 禱 苗代君

青木 精一君

市制中改正法律案 提出者 坂東幸太郎君 土屋清三郎君

千葉 三郎君 原 夫次郎君

原 惣兵衛君 比佐 昌平君

北海道會法中改正法律案 提出者

坂東幸太郎君 土屋清三郎君

千葉 三郎君 原 夫次郎君

原 惣兵衛君 比佐 昌平君

家祿賞典與給與未濟ニ關スル法律案 提出者

福田 五郎君 中野 實君

加藤十四郎君 田口 文次君

志波安一郎君 八田 宗吉君

坂井 大輔君 關 直彦君

田崎 信藏君

出版權法案 提出者

山口恒太郎君 高木益太郎君

星島 二郎君 山根 儀重君

加藤 知正君 增田 義一君

上原 好雄君 河野 正義君

永田新之允君 寺田 市正君

私立中等學校協會國庫補助ニ關スル建議案 提出者

大津淳一郎君 荒川 五郎君

内ヶ崎作三郎君 樋口 秀雄君

寒河江富澤間鐵道敷設ニ關スル建議案 提出者

齋藤 金吾君 内ヶ崎作三郎君

菅原 英伍君 齋藤仁太郎君

取引所制度調査會設置ニ關スル建議案 提出者

鶴見川改修速進ニ關スル建議案 提出者

小野 重行君 戶井 嘉作君

平沼 亮三君 若尾幾太郎君

(以上二月二十四日提出)

下呂下付知間鐵道敷設速成ニ關スル建議案 提出者

奧村 千藏君

(以上二月二十五日提出)

一政府ヨリ受領シタル答辯書左ノ如シ

衆議院議員建部遊吾君提出政弊ノ根本革

新及政費ノ經濟的ノ使用ニ關スル質問ニ對スル答辯書

(以上二月二十五日受領)

昭和二年二月二十五日

衆議院議長粕谷義三殿

衆議院議員建部遊吾君提出政弊ノ根本革

新及政費ノ經濟的ノ使用ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候

衆議院議員建部遊吾君提出政弊ノ根本革

新及政費ノ經濟的ノ使用ニ關スル質問ニ對スル答辯書

一、質問ニ係ル各種制度ノ爲完備ヲ期スルハ政府ノ常ニ充分ノ注意ヲ拂ヘル所ナルガ現在司法機關ハ完全ナル獨立ヲ保テ議員選舉法ハ既ニ改正セラレテ時運ニ適合シ代議機關運用ノ整備ハ政治思想ノ發達ニ待ツベク不法ナル請願運動ニ關スル監督取締ノ途亦既ニ備ハルアリト雖モ政府ハ尙將來調査研究ヲ怠ルモノニアラズ

二、政費ノ經濟的ニ使用セントスルコトモ亦政府ノ常ニ深甚ノ注意ヲ拂ヘル所ナリ、依テ官吏ノ待遇モ可成政費ノ膨脹ヲ來サザル見地ニ於テ之ガ改善ヲ期シ國防ニ關シテハ兵力ノ補充器材ノ整備其ノ他各般ノ施設ニ關シテ常ニ經濟的考察ヲ加フルニ努メ又會計檢査院ノ制度ハ行政當局ノ機能ヲ害セザル範圍ニ於テ極力會計檢査ノ實效ヲ舉ゲシムル様常ニ攻究ヲ怠ラズ教員俸給支給法ニ付テハ現行ノ通ニシテ不經濟ナリト認ムベキ廉ナシ

右及答辯候

昭和二年二月二十五日

内閣總理大臣 若槻禮次郎

司法大臣 江木 翼

大藏大臣 片岡 直温

〔質問主意書ハ速記録第十六號三〇四頁ニ掲載セリ〕

一左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲茲ニ掲載ス

一去二十四日衆議院規則第十五條但書ニ依

リ議長ニ於テ議席ヲ左ノ通變更セリ

六三 松山常次郎君

一一七 岡崎 邦助君

一二七 坂梨 哲君

一三三 山梨縣第五區選出議員

一三七 福岡縣第七區選出議員

二一一 望月 圭助君

二二二 井上敬之助君

二二三 小久保喜七君

二二四 大口 喜六君

二二五 岡田 忠彦君

一去二十四日議長ニ於テ選定シタル委員左ノ如シ

出版物法案委員

富田幸次郎君 橫山勝太郎君

工藤 鐵男君 斯波 貞吉君

土生 彰君 山根 儀重君

木村政次郎君 今井 健彦君

原 惣兵衛君 加藤 知正君

星島 二郎君 東 武君

今里準太郎君 寺田 市正君

上原 好雄君 兼田 秀雄君

山谷徳治郎君 永田新之允君

保險業法中改正法律案委員

寺島 權藏君 菅原 英伍君

佐藤富十郎君 荒井 健三君

松本 眞平君 高井 商二君

大竹 謙治君 金光 庸夫君

八木 逸郎君

牧野法案委員

鹽田 團平君 菅村 太事君

手代木隆吉君 八田 宗吉君

熊谷 巖君 藤川 清助君

工藤十三雄君 志波安一郎君

野原種次郎君

一去二十四日御料地拂下地ノ地租及登錄稅免除ニ關スル法律案委員野原種次郎君辭任ニ付其ノ補關シテ坂東幸太郎君ヲ朝鮮事業公債法改正法律案外二件委員田中養達君辭任ニ付其ノ補關シテ平井光三郎君ヲ登錄稅法中改正法律案外三件委員吉良元夫君、小西和君、淺川浩君辭任

一去二十四日衆議院規則第十五條但書ニ依

リ議長ニ於テ議席ヲ左ノ通變更セリ

六三 松山常次郎君

一一七 岡崎 邦助君

一二七 坂梨 哲君

一三三 山梨縣第五區選出議員

一三七 福岡縣第七區選出議員

二一一 望月 圭助君

二二二 井上敬之助君

二二三 小久保喜七君

二二四 大口 喜六君

ニ付其ノ補闕トシテ三善清之君飯塚春太郎君森田茂君ヲ商法中改正法律案外四件委員吉木陽君辭任ニ付其ノ補闕トシテ渡邊伍君ヲ不良住宅地區改良法案委員岩切重雄君辭任ニ付其ノ補闕トシテ加藤鑠五郎君ヲ執レモ議長ニ於テ選定セリ

去二十三日第七部選出決算委員山口政二君死去セラレタリ

昨二十五日常任委員補闕選舉ノ結果左ノ如シ

第四部選出
豫算委員 木戸 豊吉君(藤田胸太郎君補闕)

第七部選出
決算委員 田崎 信藏君(山口政二君補闕)

昨二十五日委員長及理事互選ノ結果左ノ如シ

出版物法案(政府提出)委員
委員長 富田幸次郎君
理事 工藤 鐵男君 今里進太郎君
寺田 市正君
保險業法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)委員
委員長 金光 庸夫君
理事 寺島 權藏君 大竹 謙治君
牧野法案(八田宗吉君提出)委員
委員長 八田 宗吉君
理事 鹽田 團平君 志波安一郎君

○議長(粕谷義三君) 是ヨリ會議ヲ開キマス、諮問事項ガアリマス、第六部選出決算委員竹原樸一君ヨリ、常任委員辭任ノ申出ガアリマシタ、許可スルニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕異議ナシト呼フ者アリ

○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ許可致シマス、其部ノ諸君ハ速ニ補闕選舉ヲ行ヒ、報告アランコトヲ望ミマス、尙ホ竹原樸一君病氣ニ付、二月二十六日ヨリ三月九日マデ、陣軍吉君病氣ニ付、

二月二十六ヨリ三月七日マデ、山本条太郎君海外旅行ニ付、二月二十四日ヨリ三月九日マデ、森格君海外旅行ニ付、二月二十四日ヨリ三月九日マデ、ソレレ、請暇ノ申出ガアリマス、許可スルニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕異議ナシト呼フ者アリ

○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ許可致シマス、日程第一、大正九年法律第五十三號中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス、湯淺政府委員

第一 大正九年法律第五十三號中改正法律案(關稅法等ノ朝鮮ニ於ケル特例ニ關スル件)(政府提出) 第一讀會

大正九年法律第五十三號中改正法律案

別表輸入稅表中「木材(關稅定率別表輸入稅表第六一號一ノ己ノノイ及口並癸ノイニ該當スルモノ)無稅」ヲ削ル

附則
本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔政府委員湯淺倉平君登壇〕

○政府委員(湯淺倉平君) 茲ニ提出セラレマシタ大正九年法律第五十三號中改正法律案ニ付テ說明致シマス大正九年法律第五十三號ハ、朝鮮ニ於ケル特殊ノ事情ニ基ク關稅定率法ノ特例定率ヲ定ムルモノデアリマス、而シテ製材セラレマシタ木材ノ中デ、板材及挽材ハ、關稅定率法ニ於キマシテハ相當課稅セラレテ居ルノデアリマス、從來朝鮮ニ於テハ、製材ノ供給ガ十分デアリマセヌカ、是ガ調節ノ爲ニ、前記法律ノ中ニ特例ヲ設ケテ、無稅ト致シテ居ルノデアリマス、然ルニ今ヤ朝鮮ニ於テハ、林政改善ノ實現ニ伴ヒマシテ、原木ノ供給ガ十分ナリマスト共ニ、一面朝鮮内ノ工場ニ於ケル製材能力ノ發達ニ依リマシテ、製材ノ供給ニ餘裕ヲ生ズルニ至リマシタノデアリマス、爲ニ最早是ガ調節ノ必要ノ爲ニ特例ヲ置クヲ要セナイコトニ相成タノデアリマス、ソレ故ニ此法律ノ中デ、木材ニ關スル部分ヲ廢止致シマシテ、關稅定率法ニ依テ課稅セントスル次第デアリマス、何卒御審議ノ上、速ニ御協賛ヲ與ヘラレンコトヲ希望致シマス

○議長(粕谷義三君) 本案ニ對シテハ、質疑ノ通告ガアリマス、順次之ヲ許シマス、武藤金吉君

〔武藤金吉君登壇〕

○武藤金吉君 只今上程ニナリマシタ大正九年法律第五十三號中改正法律案、朝鮮ニ於ケル木材關稅ニ關スル特例撤廢、此案ニ付キマシテ、衆議院ノ稅制委員會ニ於ケル矢吹外務政務次官ノ聲明ト、昨日貴族院ノ豫算委員會ニ於ケル若槻總理大臣ノ聲明トハ、全然其方針ノ矛盾シ居ルコトヲ發見致シマシタ、若槻總理大臣ハ朝鮮ノ森林政策、森林行政ハ其方針ガ確立シタト云フコトヲ、石塚貴族院議員ノ質問ニ答ヘラレテアリマス、果シテ朝鮮ノ森林政策ハ確定致シタモノデアリマスルカ、我が内地ノ森林政策ハ國土保安ノ上カラ、用材ノ需給ノ點カラ、水源涵養ノ點カラ、當局ニ於キマシテハ慎重ニ調査サレテ、衆議院ニ於テ木材關稅ノ改正ヲ要求スルニモ拘ラズ、此議會ニ提出スル運ビニナツテ居ラヌノデアリマス、本土ノ我が内地ニ於テ森林政策ガ定マラナイノニ、朝鮮ニ於テ森林政策ガ定マラナイフコトハ、一ハ喜ビニ堪ヘナイコトデアリマス、此點ハ果シテ朝鮮ノ永久ノ森林政策ハ確定致シマシテ、之ニ伴フ所ノ此關稅ニ關スル撤廢案ヲ御出シナサレタノデアリカ、之ヲ若槻總理大臣カラ精細ニ懇切ニ承リタイ、又外務大臣ニ對シマシテハ、矢吹政務次官ノ聲明ハ、滿洲ニ於ケル所ノ製材業者三千人ハ、若シ此法案ガ通過スルナラバ業ヲ失フノミナラズ、安東縣ニ於テパカリデモ一千万圓カラノ營業ヲ棄テナケレバナラヌ、僅ニ一衣帶水ノ新義州ト安東縣ニ於ケル所ノ關係ニ於テ、大陸政策ニ及ボス所ノ影響ハ非常ナルモノデアルト云フコトデアツテ、矢吹政務次官ハ政府ヲ代表シテ衆議院ノ稅制委員會ニ於テハ此案ハ撤回ヲ希望スル意味ニ於テ、若クハ調和スル意味ニ於テ、此案ノ通過ヲ希望セザルガ如キ

說明ガアッタノデアリマス、果シテ然ラバ、外務大臣ハ閣議ヲ以テ此案ヲ議會ニ提出スル時ニ於テハ、大陸政策ニ付テ御攻究ガアッタノデアリカ、且又滿洲ノ製材業者等ニ付テ御調査御考慮ガアッタノデアリカ、此點ハ確ニ若槻總理大臣ノ貴族院ニ於ケル聲明ト、衆議院ノ稅制委員會ニ於ケル所ノ矢吹政務次官ノ聲明トハ衝突ヲ致シテ居ルノデアリ、此案ハ眞面目ニ通過ヲ圖ル爲ニ御出シニナツタノデアリカ、若クハ是ハ出シタ後デ大失敗ヲシタト云フ事ニ御氣ガ附カレタノデアリカ、此邊ハ卒直ニ御答辯ヲ承テ上デ、吾々ハ審議ノ參考ニ供シタイト思フ、殊ニ斯ノ如キ法案ヲ出シマスノニ、内閣ニ於テ同ジ政府ノ下ニ於テ、朝鮮總督ト關東長官ト意見ガ合ハナイ、斯ノ如キ事態ヲ事實ノ上ニ於テ見ルト云フコトハ、實ニ吾々ハ不思議ニ堪ラナイ、奇怪千萬デアリ、此點ニ付キマシテハ總理大臣、外務大臣ヨリ簡明ニ吾々ニ說明アランコトヲ望ミマス(拍手)

〔國務大臣若槻禮次郎君登壇〕

○國務大臣(若槻禮次郎君) 朝鮮總督府ニ於キマシテハ、林政ニ付テ重キヲ置キマシテ、是迄山林局ノナカク、新ニ山林局ト云フ官制ヲ定メマシタ事モ御承知ノ通りデアリマス、而シテ大正十五年度カラシテ林業ノ經營ニ付テ一定ノ方針ヲ立テ、朝鮮總督府ハ是ガ經營ニ當ルコトニ——經營ト申シマセウカ、是ガ計畫ヲ實行スルコトニ相成テ居ルノデアリマス、其大正十五年度ノ豫算ニ於テ林政ノ施設ノ計畫ヲ立テマ實際カラ、朝鮮總督府ニ於テハ、此木材製材ノ免稅ト云フコトハ、之ヲ改メンケレバ林業計畫ヲ實行スル上ニ於テ不便デアルトシテ、其當時カラ考ヘテ居ラヌデアリトデアリマス、之ヲ實施致シマスト云フト、武藤君ノ仰セナル如ク、安東縣ノ製材業者ニハ若干ノ影響ヲ與ヘルノデアリマス、此點ハ政府ニ於テモ餘程心配ヲ致シタノデアリマスガ、若干ノ影響ヲ與ヘルニシテモ、朝鮮ノ林業經營ノ爲ニ計畫ヲ立テ、是ガ遂行ヲスル上ニ於テ必要ナリトシテ總督

昭和二一年二月二十七日

衆議院議事速記第十八號

大正九年法律第五十三號中改正法律案 第一讀會

三五三

府カラ上申セラレタ以上、大體朝鮮ノ林業計畫ヲ認メタ以上、此法案ノ實行ヲ見ルニ至ラナケレバナラス、斯ウ云フ意味ニ於テ政府ハ總督府ノ申立ニ同意ヲシテ、茲ニ此法案ヲ提出シテヤウナ次第デアリマス、朝鮮林業計畫ハ十五年カラ立テタノデアリマスガ、若シ其詳細ナル事デアリマスレバ、是ハ朝鮮總督府ノ當局カラ御説明ヲ申上ゲタ方ガ便利デアラウト思フノデアリマス(拍手)

〔國務大臣男爵幣原喜重郎君登壇〕

○國務大臣(男爵幣原喜重郎君) 只今御質問ノ中ニ、矢吹政務次官ガ此問題ヲ以テ日本ノ大陸政策ニ大ナル影響ガアルモノデアルト云フコトヲ認メラレテ、是ガ成立ヲ希望セザルガ如キ話ヲサレタト云フコトデアリマスガ、私ハ左様ニ承テ居リマセヌ、私ハ此問題ガ日本ノ大陸政策ニ何等ノ關係アルモノトハ考ヘテ居リマセヌ、固ヨリ朝鮮方面ニ於キマスル當業者ト、安東縣方面ニ於キマスル當業者ト、利害ガ幾部分衝突致シテ居ル事ハ事實デアラウト考ヘマス、ドツチモ利害ヲ持テ居ル者ハ日本人デアリマス、是ガ外國ニ對スル商權ノ擴張デアルトカ、對外貿易ノ問題デアルトカ、外國ニ對スル商工業ノ活動ノ問題ガ含マレテ居ルト云フ風ニ私ハ思フテ居リマセヌ、雙方共日本人デアリマス以上ハ——利害關係ヲ持テ居ル者ガ日本人デアリマス以上ハ、性質上ハ一ツノ國內問題デアリマス、而シテ國內問題ト雖モ、安東方面ノ當業者ト朝鮮方面ノ當業者ト利益ガ幾ラカ反スル所ガアル以上ハ、何カ其間ニ利害ヲ調和スル方法ガアルナラバ、至極結構デアルト云フ意味ノ事ヲ矢吹政務次官ハ申サレタト私ハ了解致シテ居リマス、ソレナラバ私ハ至極尤ナ話デアルト思フ、併ナガラ其利害ノ調和ノ方法ガ講ジ得ラレナイ場合ニ於キマシテハ、固ヨリ是ガ朝鮮ノ林業政策ヲ確立スル上ニ於キマシテ必要ナル法案デアラナラバ、之ヲ施行スル上ニ於テ私ハ何等ノ異議ヲ唱フベキ問題デアナイノデアリマス、私ハ此法案ニ對シテ矢吹君ガ撤回ヲ希望サレタト云フヤ

ウナ事實ハ無イト何テ居リマスガ、少クモ政府ハ撤回ヲ希望スルト云フヤウナ意思ハ毛頭持テ居リマセヌ、是ダケノコトヲ御答申上ゲテ置キマス

○武藤金吉君 尙ホ當席カラ御許ヲ願ヒタイ

○議長(粕谷義三君) 許シマス

○武藤金吉君 只今外務大臣ノ御答辯ハ、此問題ヲ極メテ輕ク御覽ニナシテ居ル、大陸政策ニハ何等影響ガナイ、安東縣ハ鴨綠江ヲ渡シテ滿洲ノ入口デアルト同時ニ、而モ此影響ハ滿洲全體ニ及ボスノミナラズ、一千万圓ノアノ狭イ所デ大產業ガ、唯、日本人同志ノ關係デアルカラト申シマシテ、安東縣ノ三千ノ製材業者ガ死地ニ陥リ、業ガ無クナルト云フコトニナリマシタナラバ、大陸政策ニ何等關係ガ無イト云フヤウナコトハ言ハレタモノデアアルマイト思フ、現ニ吾々ノ手許ニハ、唯、安東縣ノ人ノ聲バカリデハナイ、滿洲支那全體ノ聲トシテ陳情モ參ッテ居ルノデアアル、是等ニ付キマシテハ幣原外務大臣ハ、後ニナシテ此事ヲ聞イテ狼狽ヲシテ、現ニ兒玉關東長官ハ此案ノ通過セザルコトニ盡カシテ居ルデハナイカ、外務當局ニ於テモ此案ノ通過セザルコトヲ從違シテ居ルデハナイカ、餘リニ白々シイ外務大臣ノ御答辯ト私ハ思フ、ノミナラズ矢吹政務次官ノ御答辯ハ、登録稅外十一件ノ稅制委員會ノ速記録ニ明々白々ニ記載サレテ居ルノデアアル、斯ノ如キコトハ實ニ總理大臣トシテハ内閣不統一、政府トナリマシテハ大失態デアアル、果シテ此案ヲ誠心誠意通過スベク議會ニ出シタノデアアルカドウカト云フコトヲ、總理並ニ外務、兩國務大臣ニ私ハ伺フテ居ルノデアアル、此上ニ御尋致シマシテモ本當ノ事ヲ申サヌカモ知レマセヌ、併ナガラ議會ニ對シテ斯ノ如キ不深切ノ案ヲ提出サレルト云フコトハ、吾々ノ審議ノ上ニ洵ニ遺憾デアリマスルカラ、此質問ヲ已ムヲ得ズ發シタノデゴザイマス、尙ホ外務大臣ガ御答ガアツテモナクテモ、吾々ハサウ認メテ居ルノデアアル、又外務大臣モ此法案ノ真相ニ觸レテ、外務大臣

ノ良心ニ尋ネマシタナラバ、此案ノ今ノ御答辯ハ良心ノ發動デハナイト私ハ思フ、此案ヲ恐ラクハ政府ハ撤回スルコトモ出來ナイシ、決議スルコトモ出來ナイカラ、恐テクハ議會ニ出シテソレレド運動デモシテ、握リ潰シテ貰フテ、體面デモ保タウト云フ說ヲ聽イテ居ルカラ、此質問ヲ致シタノデアアル、尙ホ外務大臣ニ御辯明ガアリマスレバ承リタイ、御辯明ガナケレバ承ラヌデモ宜シイ

〔國務大臣男爵幣原喜重郎君登壇〕

○國務大臣(男爵幣原喜重郎君) 外務省ガ此法案ノ成立シナイヤウナ運動ヲ致シテ居ルト云フコトハ、ドウ云フ證據デ左様ナコトヲ仰セラレマスカ、左様ナ運動ヲ致シテ居ルコトハ斷ジテアリマセヌ(ヒヤ)

○砂田重政君 本案ニ對スル審議ノ此程度ニ止メマシテ、午後四時マデ休憩セラレンコトヲ望ミマス

〔三時デヤナイカ〕〔三時々々〕〔三時半〕〔三時半〕〔下呼フ者アリ〕

○砂田重政君 議長午後三時半マデト訂正致シマス

○議長(粕谷義三君) 只今ノ砂田君ノ動議ニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス、依テ三時半マデ休憩致シマス

午後一時三十分休憩

午後三時四十五分開議

○議長(粕谷義三君) 休憩前ニ引續キマシテ、是ヨリ會議ヲ開キマス、日程第一ニ付テ質問ヲ繼續致シマス、柏田忠一君

〔柏田忠一君登壇〕

○柏田忠一君 只今上程サレテ居リマスル法案ニ付キマシテ、極メテ簡單ニ外務大臣並ニ總理大臣、朝鮮ノ政務總監ニ對シ、質問シテ見タイノデアリマス、總監ノ該法案ノ説明ニ曰ク、是ハ嘗テ朝鮮ガ特別ノ情況ニ在リタノデアアルガ、今ヤ既ニ林政計畫ガ確立シ、鮮内ノ製材能力モ大分餘裕ガ出來テ來タノデアアルカラ、此場合元ノ關稅ニ復活

シテモ差支ナイ、斯ウ云フ御議論デアリマス、所ガ去ル二十一日ニ於キマシテ、朝鮮各道林務官會議ガアツタトキ、其席上ニ於キマシテ、總監ハ朝鮮ノ林業政策ニ付キマシテ、訓示ヲ與ヘテ居リマス、其訓示ノ中ニ斯ウ云フ事ガアル、是ハ二十一日ノ全道ノ林務官會議ニ於ケル總監ノ訓示演說デアリマスルガ、次ノ如ク言フテ居リマス、惟フニ朝鮮ノ山林經營ハ國民生活ノ安危、經濟ノ消長ニ密接ノ關係ヲ有シテ居ル、然ルニ朝鮮ニ於キマシテハ、林政ノ振ハナイコトガ久シク、制度慣習亦適切デナイモノガアツタ結果、山林ハ多ク荒廢ニ歸シ、本府即チ總督府始政以來、官民ノ努力ガ多大ナリシニ拘ラズ、是ガ振興ハ前途尙ホ遠遠デアアル、千六百万町ノ林野ヲ墾シナガラ、其林產物ハ朝鮮内ノ需要ヲ充タスコトガ出來ナイ、用材、燃料等ノ缺乏ヲ告ゲルノミナラズ、洪水、旱魃ノ災害ハ頻ニ臻リ、其結果トシテ被ル損害ハ年々巨額ニ達シテ居ル、民衆ノ生活ヲ脅威シ、産業ノ發展ヲ阻害スルコト洵ニ甚シトセズ云々ト云フ、訓示デアリマス、ソレハ二十一日ノ御話デアアルガ、對馬海峡ヲ渡リマシテ東京ニ來マサルト、今日ノ該法案ノ説明ニハ、最早製材能力ハ十分デアアルガ故ニ、大正九年ノ關稅率ニ引戻シテ差支ナイ、斯ウ云フ御説明デアリマス、僅ニ數日ノ間ニ於テ朝鮮ノ林業政策ニ對シ、斯ノ如キ相違ノアルト云フコトハ、ドウシテモ受取レヌノデアリマス、五六日ノ間ニ左様ニ變化ヲ來シタノデアアルカ、又朝鮮ノ現在ハ濫伐復タ濫伐ノ結果ノ洪水デナイカラ、之ニ對シ何等ノ御心配ハ無イト云フノデアアルカドウカ、此點ヲ何テ置キタイト思ヒマス、更ニ水害ノ問題ニ付キマシテハ、不逞鮮人ト水害、是ハ朝鮮ニ於ケル二大厄介者デアリマシテ、殊ニ水害ハ年々歳々非常ナ費用ヲ、其復舊工事等ニ要スルノデアリマシテ、殊ニ一昨年ノ如キハ、京城並ニ南鮮ニ於キマシテ多大ナル損害ヲ被リマシテ、其額約二千万圓ト稱サレテ居ル、其復舊モ未ダ十分ニ出來テ居リマセヌノデアリマス、其根源ガ何處ニ在ルカ

ト申セバ、即チ朝鮮鷄林八道滿山禿シテ、其結果年々歳々洪水ガ襲來スル、是ガ即チ其原因ニナリテ居リマス、故ニ總督府ニ於キマシテモ、砂防工事ヲ年々ヤツテ居リマス、殊ニ本年ノ所謂各道ノ林務官會議ニ於キマシテハ、從來ヨリモ餘計ニ費用ヲ増シマシテ、昭和二年度ニ於キマシテハ七十萬圓ノ砂防工事費ヲ計上致シテ居リマス、更ニ又森林勘成費ト致シマシテモ五十萬圓デアラカ、五十四萬圓デアラカ、多額ノ費用ヲ投ジテ居ルノデアリマス、而シテ一方ニ於テハ森林勘成政策ヲ頻ニ採リテ居ナガラ、他方ニ於テハ木ヲ伐レト言フ、該關稅政策ガ復活ヲ致シマスレバ、材木ノ値段ガ騰ルノデアリマスカラ、隨テ朝鮮ニ於ケル材木ガ伐ラレル、是ハ何レノ國デモサウデアリマス、内地ニ於キマシテモ、材木ノ關稅ヲ引上ゲルト濫伐ノ弊ニ陥ルト云フコトハ、是ハ明ナコトデアリマス、今日朝鮮デ森林地帶ト申セバ、北韓地方ノ茂山或ハ豆滿江ノ沿岸地方デアリマスガ、現ニ輸入シテ居ル額ハ上レ程デアリカト申セバ、約六十萬石ノ多數ニ上レテ居ルノデアリマスガ、年々歳々此總額ノ伐レテ行クト云フコトニナレバ、此北韓地方ニ於ケル森林モ、數年ナラズシテ非常ナコトニ陥リハセヌカト思フノデアリマス、サウスレバ林業政策ト此關稅政策ト云フモノハ、全然背馳スルコトニナルノデアリマス、ソレ等ニ對シテハドウ云フ御對策ヲ講ズル御積リデアアルヤ、更ニ又總督府ニ於テハ、産米計畫ヲ大上段ニ振廻シテ居ルノデアリマスガ、年々歳々水害ニ依リテ荒廢スル所ノ水田ハ如何ト申セバ、非常ナモノデアリマス、是モ僅カニ二十五萬圓ノ關稅ノ増收ヲ圖リ、其一面ニ於テハ産米ノ減收ヲ見ルコト云フ結果ニ相成リハセヌカト思フノデアリマス、是ハドウ云フ御成算アリヤ、更ニ第三ニ於テハ、對滿政策ノ破壞デアアル、是ハ外務當局ニ御伺シタイノデアリマスガ、從來鴨綠江材木公司ノ成立シテ歴史ヲ考ヘテ見マス、是ハ單ニ木ヲ伐テ利益ヲ得ルト云フノガ目的デハナイノデアリマス、要スルニ朝鮮内地ニ於ケル森林

濫伐ヲ防イデ、安イモノヲ滿蒙地方カラ入レテ、幾分デモ國民ノ生活費ヲ安クシヤウト云フノガ根本デアリマス、是ハ材木公司ノ歴史ニ適シテ見レバ明瞭デアリマス、而シテ朝鮮ニ入ル滿洲粟或ハ豆糟、是ハ内地ニモ年二一億二千萬カラ入りマスガ、サウ云フモノニ付テ此關稅ガ設ケラレタナラバ、恐ラク支那ハ報復の三輸出稅ヲ引上ゲハセヌカト思フノデアリマス、現ニ支那ニ於キマシテハ、此關稅引上ゲ支那ニ對スル報復ナリト云フ議論モアルノデアリマス、是等ニ對シテハ僅ニ二十五萬圓ノ收入ヲ得テ、其半面ニ於テ斯ル大ナル犧牲ヲ拂フ御決心ガアツテ、此提案ヲサレタノデアアルカドウカ、又此提案ハ關稅決定マデハ、全ク關東廳並ニ外務省ト交渉ガナカッタト云フコトハ事實デアアル、サウシテ突如トシテ提出サレタモノデアリマスカラ、關東廳モ變テ、外務省モオカシイト云フノデ、茲ニ意見ノ相違ヲ來シタト云フコトハ明ナ事實デアリマス、何故ニサウ云フ風ニ隱シテ置イテ、關稅間際ニ突如トシテ出シタカ、ソレ程ノ必要ガアルカドウカ、是ハ總理大臣ニ御伺シテ置クノデアリマス、又此損益計算カラ申セバ、大體ハ二十六七萬カラ三十萬圓見當ノ増收デアリマス、サウシテ失フ所ハ何カト申セバ、六十萬石カラノ鐵道ノ運賃ガ先ゾ減ズルノデアリマス、是ハ朝鮮ノ鐵道トシテハ非常ニ損害デアリマス、又治水費ノ増加スルコトハ明瞭デアリマス、木ヲ伐ラレルカラ洪水ガ出ル、水力電氣ノ源ヲ涸ラス、現ニ朝鮮ニ於ケル一大事業ハ、水力電氣ノ事業デアリマス、此源ヲ涸ラス、是ハドウスルカ、水害復舊費ガ増加スルガ、是ハドウスルカ、更ニ御伺シテ見タイノハ、現在ハ銀安デアアルカラ、新義州邊リデハ安東ノ方ガ非常ニ歩合ガ宜イト云フノデ、羨望ノ結果運動シテ、斯ウ云フ提案ヲサセタト云フヤウナ風説モアルノデアリマス、サウスレバ銀ガ元ヘ戻レテ來レバドウスルカ、變轉極マリナキ支那ノ銀ノ價ノ對象トシテ關稅政策ヲ立テルト云フガ如キコトハ、極メテ危險ナル政策デアリマス、最近ニ於キ

マシテ又二十一日ニ、園田ト云フ山林部長ノ演説ガアル、此演説ヲ引用シテ見マシテモ、明ニ此關稅引上ト全ク反對ノコトヲ言フテ居ル、朝鮮ニ於キマシテハ、今根本ニ於テ林業政策ヲ確立シナケレバナラナイ、又山林ノ荒廢日ニ甚シク、災禍ノ非常ニ恐ルベキモノガアルノデアアルカラ、愛林思想ヲ養ハナケレバナラヌ、保安林ヲ設置シナケレバナラヌ、砂防工事ヲ益々盛ニシナケレバナラヌ、又造林ノ補助ヲシナケレバナラヌト云フ風ニ、幾多ノ事例ヲ舉ゲマシテ、以テ朝鮮ニ於キマシテハ、木ヲ伐ルヨリハ寧ろ滿目荒涼タル禿山ヲ綠ニスルト云フノガ根本デアアルト云フコトヲ力説シテ居ルノデアリマス、是ト今日總督府該法案ヲ說明サレタモノトハ、全ク是ハ打ッテ變テ所ノモノデアリマシテ、此林業政策ヲ根柢カラ覆ス所ノ法案デアルト思フノデアリマスガ、先ゾ大體ニ於テ以上ノ三點デアリマス、今日私ノ實ニ意外ニ感ズルハ、朝鮮内地ノ各道ヨリシテ、該法案ニ反對ノ氣勢ガ舉テ居ルコトデアリマス、先ゾ龍山ニ於ケル朝鮮工業會長田川常二郎氏カ、總督府ガ自給自足シ得ルト云フ見解ノ下ニ、木材輸入關稅特別廢止セントスルハ時機尙早ナリト信ズ、朝鮮工業振興ノ爲ニ絶對贊成出來ザルモノナリ、斯ウ云フ電報ガ這入リテ居ル、ソレカラ京城ノ木材商組合有志、是ハ御膝下ノ木材商ノ電報デアリマス、「木材關稅特別廢止ニハ絶對反對スルモノナリ、安東ノ立場ニモ御同情ニ堪ヘズ、折角御奮闘御成功ヲ祈ル」と云フコトヲ安東ノ委員ニ打電シタ、ソレカラ朝鮮ノ土木協會長荒井初太郎氏ハ「總督府ガ木材輸入關稅特別廢止、自給自足ニ依ルト云フハ時機尙早ナリト信ズ、當局ニ一應考慮ヲ願フ考ナリ」と云フ電報ヲ打ッテ居ルノデアリマス、相當有力ナル朝鮮内地ニ於キマシテハ、之ニ對スル反對ガアルノミナラズ、二千萬ノ朝鮮人ハ之ニ依リテ引上ゲラレタ高イ材木ヲ買ハネバナラヌト云フ事ニ相成ルノデアリマスノデ、是亦反對ノ氣勢ヲ舉ゲ

テ居ル、朝鮮人ト云フ者ハ非常ニ經濟ノ低イ者デアアルガ、ソレ等ノ朝鮮人ハ材木ノ高イモノヲ買ハナケレバナラヌノデ、是モ反對デアアル、滿洲一帶ガ反對、朝鮮ガ反對、是デモ該法案ヲドウシテモ遮ニ無二通サナケレバナラヌト云フ御主張ハ何レニ在リヤ、以上ノ點ニ付キマシテ總理大臣、外務大臣並ニ總督府ノ御當局ニ御伺スルノデアリマス

○政府委員(湯淺倉平君登壇) 只今ノ柏田君ヨリノ御尋ニ對シテ御答ヲ致シマス、柏田君ノ御尋ノ第一點ハ、本案提出ノ理由ヲ私ヨリ過刻說明致シマシタ際ノ說明ト、朝鮮各道ノ林務主任會議ニ於テ私ノ名ヲ以テシタ訓示ト相違シテ居ルデハナイカト云フ御尋デアリマシタ、私ノ名前デ朝鮮總督府ノ林務主任會議ニ於ケル訓示ヲ出シテ居ルト云フコトニ付キマシテハ、私實ハ其内容ヲ承知シテ居リマセヌ、不在申ノコトデアリマシテ、代理者ガ代理決議ヲ致シタモノト存ジマスルガ、更ニ其内容ニ付キマシテハ如何ニモ此法案ヲ提出致シマシタニ付テ、何等カ理由ヲ作製シタカノ如キ趣旨ノ御尋ト存ジマシタガ、之ニ付キマシテハ前豫算ニ於キマシテ議會ノ協賛ヲ仰ギマシタ致サレテ居リマシテ、ソレニハ豫算委員ニナラレマシタ方ハ御持ニナツテ居ル事ト思ヒマスルガ、其際豫算ノ說明材料トシテ、朝鮮ノ林政ニ關スル說明書ト云フモノヲ差上ゲテ居ルノデアリマス、此朝鮮ノ林政ニ關スル說明書ニ、朝鮮總督府ガ鴨綠江、豆滿江流域ニ於ケル官有ノ山林ノ増伐計畫ヲ立テ、居リマスコトハ、此昨年差上ゲマシタ參考書類ノ中ニ明瞭ニ記載サレテ居ル通りデアリマス、柏田君ノ御尋ハ一應御尤ト考ヘマスルノハ、朝鮮ノ各道ニ於ケル山林ハ海ニ荒廢ヲ致シテ居リマス、朝鮮ノ各道ノ山林ガ用材ト云ヒ、薪炭材ト云ヒ、之ヲ供給スルニハ十分デアリマセヌ、此事ニ付キマシテハ私ハ之ヲ爭フ者デアアリマセ

マシテ又二十一日ニ、園田ト云フ山林部長ノ演説ガアル、此演説ヲ引用シテ見マシテモ、明ニ此關稅引上ト全ク反對ノコトヲ言フテ居ル、朝鮮ニ於キマシテハ、今根本ニ於テ林業政策ヲ確立シナケレバナラナイ、又山林ノ荒廢日ニ甚シク、災禍ノ非常ニ恐ルベキモノガアルノデアアルカラ、愛林思想ヲ養ハナケレバナラヌ、保安林ヲ設置シナケレバナラヌ、砂防工事ヲ益々盛ニシナケレバナラヌ、又造林ノ補助ヲシナケレバナラヌト云フ風ニ、幾多ノ事例ヲ舉ゲマシテ、以テ朝鮮ニ於キマシテハ、木ヲ伐ルヨリハ寧ろ滿目荒涼タル禿山ヲ綠ニスルト云フノガ根本デアアルト云フコトヲ力説シテ居ルノデアリマス、是ト今日總督府該法案ヲ說明サレタモノトハ、全ク是ハ打ッテ變テ所ノモノデアリマシテ、此林業政策ヲ根柢カラ覆ス所ノ法案デアルト思フノデアリマスガ、先ゾ大體ニ於テ以上ノ三點デアリマス、今日私ノ實ニ意外ニ感ズルハ、朝鮮内地ノ各道ヨリシテ、該法案ニ反對ノ氣勢ガ舉テ居ルコトデアリマス、先ゾ龍山ニ於ケル朝鮮工業會長田川常二郎氏カ、總督府ガ自給自足シ得ルト云フ見解ノ下ニ、木材輸入關稅特別廢止セントスルハ時機尙早ナリト信ズ、朝鮮工業振興ノ爲ニ絶對贊成出來ザルモノナリ、斯ウ云フ電報ガ這入リテ居ル、ソレカラ京城ノ木材商組合有志、是ハ御膝下ノ木材商ノ電報デアリマス、「木材關稅特別廢止ニハ絶對反對スルモノナリ、安東ノ立場ニモ御同情ニ堪ヘズ、折角御奮闘御成功ヲ祈ル」と云フコトヲ安東ノ委員ニ打電シタ、ソレカラ朝鮮ノ土木協會長荒井初太郎氏ハ「總督府ガ木材輸入關稅特別廢止、自給自足ニ依ルト云フハ時機尙早ナリト信ズ、當局ニ一應考慮ヲ願フ考ナリ」と云フ電報ヲ打ッテ居ルノデアリマス、相當有力ナル朝鮮内地ニ於キマシテハ、之ニ對スル反對ガアルノミナラズ、二千萬ノ朝鮮人ハ之ニ依リテ引上ゲラレタ高イ材木ヲ買ハネバナラヌト云フ事ニ相成ルノデアリマスノデ、是亦反對ノ氣勢ヲ舉ゲ

○政府委員(湯淺倉平君登壇) 只今ノ柏田君ヨリノ御尋ニ對シテ御答ヲ致シマス、柏田君ノ御尋ノ第一點ハ、本案提出ノ理由ヲ私ヨリ過刻說明致シマシタ際ノ說明ト、朝鮮各道ノ林務主任會議ニ於テ私ノ名ヲ以テシタ訓示ト相違シテ居ルデハナイカト云フ御尋デアリマシタ、私ノ名前デ朝鮮總督府ノ林務主任會議ニ於ケル訓示ヲ出シテ居ルト云フコトニ付キマシテハ、私實ハ其内容ヲ承知シテ居リマセヌ、不在申ノコトデアリマシテ、代理者ガ代理決議ヲ致シタモノト存ジマスルガ、更ニ其内容ニ付キマシテハ如何ニモ此法案ヲ提出致シマシタニ付テ、何等カ理由ヲ作製シタカノ如キ趣旨ノ御尋ト存ジマシタガ、之ニ付キマシテハ前豫算ニ於キマシテ議會ノ協賛ヲ仰ギマシタ致サレテ居リマシテ、ソレニハ豫算委員ニナラレマシタ方ハ御持ニナツテ居ル事ト思ヒマスルガ、其際豫算ノ說明材料トシテ、朝鮮ノ林政ニ關スル說明書ト云フモノヲ差上ゲテ居ルノデアリマス、此朝鮮ノ林政ニ關スル說明書ニ、朝鮮總督府ガ鴨綠江、豆滿江流域ニ於ケル官有ノ山林ノ増伐計畫ヲ立テ、居リマスコトハ、此昨年差上ゲマシタ參考書類ノ中ニ明瞭ニ記載サレテ居ル通りデアリマス、柏田君ノ御尋ハ一應御尤ト考ヘマスルノハ、朝鮮ノ各道ニ於ケル山林ハ海ニ荒廢ヲ致シテ居リマス、朝鮮ノ各道ノ山林ガ用材ト云ヒ、薪炭材ト云ヒ、之ヲ供給スルニハ十分デアリマセヌ、此事ニ付キマシテハ私ハ之ヲ爭フ者デアアリマセ

○政府委員(湯淺倉平君登壇) 只今ノ柏田君ヨリノ御尋ニ對シテ御答ヲ致シマス、柏田君ノ御尋ノ第一點ハ、本案提出ノ理由ヲ私ヨリ過刻說明致シマシタ際ノ說明ト、朝鮮各道ノ林務主任會議ニ於テ私ノ名ヲ以テシタ訓示ト相違シテ居ルデハナイカト云フ御尋デアリマシタ、私ノ名前デ朝鮮總督府ノ林務主任會議ニ於ケル訓示ヲ出シテ居ルト云フコトニ付キマシテハ、私實ハ其内容ヲ承知シテ居リマセヌ、不在申ノコトデアリマシテ、代理者ガ代理決議ヲ致シタモノト存ジマスルガ、更ニ其内容ニ付キマシテハ如何ニモ此法案ヲ提出致シマシタニ付テ、何等カ理由ヲ作製シタカノ如キ趣旨ノ御尋ト存ジマシタガ、之ニ付キマシテハ前豫算ニ於キマシテ議會ノ協賛ヲ仰ギマシタ致サレテ居リマシテ、ソレニハ豫算委員ニナラレマシタ方ハ御持ニナツテ居ル事ト思ヒマスルガ、其際豫算ノ說明材料トシテ、朝鮮ノ林政ニ關スル說明書ト云フモノヲ差上ゲテ居ルノデアリマス、此朝鮮ノ林政ニ關スル說明書ニ、朝鮮總督府ガ鴨綠江、豆滿江流域ニ於ケル官有ノ山林ノ増伐計畫ヲ立テ、居リマスコトハ、此昨年差上ゲマシタ參考書類ノ中ニ明瞭ニ記載サレテ居ル通りデアリマス、柏田君ノ御尋ハ一應御尤ト考ヘマスルノハ、朝鮮ノ各道ニ於ケル山林ハ海ニ荒廢ヲ致シテ居リマス、朝鮮ノ各道ノ山林ガ用材ト云ヒ、薪炭材ト云ヒ、之ヲ供給スルニハ十分デアリマセヌ、此事ニ付キマシテハ私ハ之ヲ爭フ者デアアリマセ

又、唯、朝鮮總督府ガ林政ノ改善ノ計畫ト致シテ立テマシタコトハ鴨綠江、主トシテ鴨綠江デアリマス、鴨綠江及豆滿江ノ流域ニ於ケル山林ノ増伐ノ計畫ニ致シテ居ルデアリマス、是ハ朝鮮ノ事情ヲ御承知ノ方ニハ、能ク御分リニナシテ居ル事ト思ヒマスルガ、非常ニ木材ノ蓄積ガアリマシテ、是ガ既ニ老齡ニ達シテ居ルデアリマス、老齡過熟デアリマシテ、立枯ヲシツ、アルト云フ状態デアリマス、加フルニ松毛蟲ノ被害ガ非常ニ甚シクテ、之ヲ斫伐ヲ致サナケレバ非常ニ不利益ニ相成ルデアリマス、斯様ナ次第デゴザイマスカラ、大正十五年度ヨリ増伐ノ計畫ヲ立テ、是ガ收入其他ニ付テハ前年度豫算ニ既ニソレト、計上サレテ居ルカ、鴨綠江、豆滿江兩江ノ流域ニ於ケル木材ノ伐採ト云フコトハ、特殊ノ理由、特殊ノ必要ニ基キテ計畫ヲシテ居ル次第デアリマシテ、他ノ地方ノ荒廢シテ居ル山林ノ林相状態ヲ御覽ニナシテ御意見ハ、一應御尤ト考ヘマスルケレドモ、此計畫ハ朝鮮總督府ト致シマシテハ、前年來既ニ實行ニ著手致シテ居ル次第デゴザイマシテ、本案提出ノ爲ニ殊更ニ理由ヲ作製致シタノデハゴザイマセヌコトヲ、御了承ヲ願ヒタイノデゴザイマス、ソレカラ第二點ハ、朝鮮ニハ往々ニシテ非常ナ水害ガアルデハナイカ、其爲ニ受ケル所ノ被害ハ極メテ大ナルモノガアル、殊ニ一昨年ノ水害ノ如キハ非常ニ甚大ナル被害ヲ與ヘタモノデアアル、是ガ復舊スラ尙ホ十分デナイデハナイカ、水害ノ原因ノ一ツハ山林ノ荒廢デアアル、斯様ナ状態ニ現在ノ朝鮮ノ山林ガアルノデアリマス、然ルニ木材ノ伐採ヲスルト云フコトハ山林ヲ更ニ荒廢セシメルノデハナイカ、尙ホ又一面産米増殖計畫ヲ立テ、居リナガラ、山林ヲ荒廢セシメテ其結果ハ田畑ヲ荒シ、産米ノ減收ヲ來スヤウナ矛盾シタコトニナルノデハナイカ、斯様ナ御趣旨ノヤウニ心得マシタガ、御尋ノ通り朝鮮ニハ往々ニシテ非常ナ水害ガアルノデアリマス、此水害ノ原因ハ御尋ノ通り、山林ノ荒廢モ或ハ其一因

ヲ成シテ居ルコトハ疑ナイノデアリマスガ、又一方カラ申シマスコト、山林ノ植栽ハ樹木ノ植栽ノミニ依ツテハ防ギ得ル水害デハナイノデアリマス、朝鮮ノ降雨量ハ短イ時間ニ非常ニ莫大ナ雨ヲ降ラスノデアリマシテ、ソレガ爲ニ山林ニ雨ヲ蓄積スルト云フ力ガ何程モナイノデアリマス、是ハ山林ガ縱シ繁茂致シマシテモ、朝鮮ノ降雨量カラ見マスルト云フコト、山ニ依ツテ防ギ得ル量ハ極メテ僅ナモノデアアルデアリマス、ノミナラズ朝鮮ノ荒廢シテ居ル山林ニ對シマシテハ、御尋ノ中ニモアリマシタ通り、一面ニ於テハ砂防ヲ實行シ、或ハ獎勵シ、又木ノ苗ヲ配布シ、山林ノ植栽ヲ頻ニ獎勵致シテ居リマス、一面ニハ山林ノ伐採ニ付テモ制限ヲ加ヘ、又火田民ニ對シテモ相當ノ制限ヲ加ヘ、山林保護ニ付テモ、有ユル手段ヲ取ツテ、保護ヲ致シテ居ルデアリマス、斯様ナ次第デアリマシテ、朝鮮全道ニ——全鮮ニ互ル所ノ山林ニ對シテハ、或ハ濫伐ヲ制限シ、或ハ植栽ヲ獎勵シ、或ハ砂防ヲ行ヒ、或ハ火災ノ防止ニ努力致シマシテ、山林ノ改善ヲ企圖シテ居ルデアリマス、今回計畫ヲ致シテ居リマスル朝鮮總督府ノ山林ノ増伐計畫ハ、全鮮ニ互ルモノデアリマセヌ、主トシテ鴨綠江並ニ豆滿江流域ニ於ケル、其儘立枯トナリツ、アル木材ノ伐採ヲ計畫致シテ居ルニ過ギナイノデアリマスカラ、他ノ地方ノ山林ノ荒廢及之ヲ改善スル所ノ方策トハ、聊カ趣ヲ異ニ致シテ居ル次第デアリマスカラ、左様御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス、第三ノ御尋ハ、是ハ私ヨリ御答スベキ點デハナイト思ヒマス、第四點ハ伐木ニ因ル水害復舊費ノ増加、或ハ是ガ山林ヲ荒廢セシメルコトニナルデハナイカ、結局此法案ニ依テ關稅ノ課稅ヲスルト云フコトハ、朝鮮ノ林業政策ヲ覆スモノデハナイカト云フ御尋デアリマスルガ、是ハ曩ニ申上デマシタヤウニ、水害ノ復舊ニモ努力ヲ致シテ居リマスルシ、又水害ノ防止ニモ力ヲ盡シテ居リマスルガ、昨年來朝鮮總督府ノ計畫致シマシタ山林ノ増伐計畫、竝ニ今回提案致シマシタ關稅ニ關

スル朝鮮ノ特例ヲ廢止致スト云フコトハ、之ニ由ツテ以テ全鮮ノ水害ヲ多カラシメ、或ハ山林ヲ荒廢セシメルト云フ關係ニハ相成ラヌコト、考ヘテ居リマス、詰リ鴨綠江ノ上流ニ於キマスル山林ハ既ニ老齡ニ達シテ居リ、過熟シテ居リマスル結果、自然ニ立枯トナリマスル上ニ、蟲害ヲ受ケテ伐ラナケレバ徒ニ天物ヲ暴殄スルト云フ状態ニ在ルデアリマスカラ、之ヲ増伐ヲスルト云フコトニナリマシタ、其結果ト致シマシテ、朝鮮内ニ於ケル山林ノ自給自足ガ出來ル、斯様ナコトニ考ヘテ居ル次第デアリマス、而シテ其計畫ハ昨年既ニ豫算委員トナラレマシタ方ニ、詳シキ説明書ヲ差上ゲテ居リマスル次第デアリマスカラ、何卒左様御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○國務大臣若槻禮次郎君登壇
問中ニ、此法律ヲ議會ニ提出スルマデハ、外務省並ニ關東廳ニ對シテ秘密ニシテ居、タヤウデアルト云フコトデアリマスガ、左様ナ次第デアリナイノデアリマス、尤モ拓殖事務局ノ方カラ外務省、或ハ關東廳ニ照會シテ意見ヲ求ムル手續ハ執ラナカッタカモ知レマセヌ、其點ニ付テハ明確ニ致シテ居リマセヌケレドモ、ソレハ秘密ニスルト云フ意味デアリマセヌデ、只今御聽ニナリマシタ通り、此關稅ヲ普通法ニ戻スト云フコトハ、昨年朝鮮總督府ニ於テ林業ノ計畫ヲ立テマシタ時カラ、其考ヲ以テ進ンデ居、タノデアリマシテ、拓殖事務局ハ其意見ヲ聽イテ、之ニ依ツテ關東廳管内ノコトモ、總督府管内ノコトモ、共ニ考ヘテ適切ナリト云フ意味デ法律案ノ起草ヲ致シテ、總督府ノ起草ニ對シテ拓殖局長ガ進行ヲ圖リマシタト云フ順序デ、決シテ其間外務省又ハ關東廳ニ秘密ニシテ、突然トシテ之ヲ出シタト云フ次第デアリマセヌ、是ダケノコトハ申上ゲテ置キマス

質問ハ一點デアット思フノデアリマス、即チ此度ノ法律改正ニ依ツテ、支那ニ於テハ我國ニ對シテ輸出スル豆糖ノ如キ重要ナ物ニ輸出稅ヲ課スルヤウナ結果ニ相成ツテ、其爲ニ我國ノ産業ニ打撃ヲ與ヘハセヌカト云フ御懸念カラノ御質問デアリマス、之ニ付キマシテハ、吾々ニ於テハ決シテ其憂ナシト信ズルノデアリマス、何トナレバ、此度ノ法律改正ハ何等支那ノ貨物ニ對スル差別待遇ヲ致スノデナク、一般ニ朝鮮ニ輸入スル木材ニ付テ、均ニ課稅ヲ致スノデアリマス、而シテ其課稅ノ率ハ内地ノ國定稅率ト等シキ程度デアリマシテ、而モ支那ニ對シテ差別待遇ヲ與ヘントスルモノデナイコトハ、誰ガ見テモ明瞭デアリマス、隨ヒマシテ此際支那政府ニ於テハ、我國ニ對スル重要ナル輸物ニ、特ニ報復的課稅ヲ爲スガ如キコトハ、有り得ベカラザルコトト信ジテ居ルノデアリマス、此點御答辯申上ゲマス

○柏田忠一君 簡單デアリマスカラ此席ヨリ御許ヲ願ヒマス——湯淺總監ハ二十一日全道林務官會議ニ訓示ヲシタコトハ、己ノ名前デヤツカ知レヌガ、其内容ハ承知シナイ、斯ウ云フ御話デアリマス、苟モ政務總監ノ地位ニ在ツテ、確カ林務部長デアルト思ヒマスガ、其人ノ爲シタ演說ノ内容ハ知ラヌト云フヤウナコトデ、朝鮮ノ所謂林業政策ナルモノヲ立テ、是カラヤツテ行カウト云フコトハ、極メテ困難デハナイカト思フ、部下ノ事ニ付テハ一切責任ヲ負フト云フ肚デオキデニナラナケレバナラヌノニ、承知セヌ——ト云フノハ如何カト思フ、併シソレハ答辯ヲ求メマセヌ、又鴨綠江乃至豆滿江沿岸ニ増林ヲ致シテ居ル、仍テ之ヲ伐ツタ所ガ水害其他ノ問題ニハ影響ガナイ、斯ウ云フ御話デアリマスガ、鴨綠江ノ下流新義州八年々洪水ノ爲ニ苦シデ居ル、彼處ニハ堤防ヲ築イテ水ノ侵入ヲ防イデ居ルノデアリマスガ、若モ此茂山其他ノ沿岸地方ノ伐採ヲ致シマシタナラバ、恐ラク増水ハ更ニ甚シイモノガアラウト思フノデアリマス、サウスレバアノ堤防ガ缺潰サ

○政府委員(男爵矢吹省三君) 外務大臣差支ノ爲ニ出席出來マセヌノデ、私カラ御答申シマス、只今柏田君ノ外務省ニ對スル御

○政府委員(男爵矢吹省三君登壇)
○政府委員(男爵矢吹省三君) 外務大臣差支ノ爲ニ出席出來マセヌノデ、私カラ御答申シマス、只今柏田君ノ外務省ニ對スル御

○政府委員(男爵矢吹省三君登壇)
○政府委員(男爵矢吹省三君) 外務大臣差支ノ爲ニ出席出來マセヌノデ、私カラ御答申シマス、只今柏田君ノ外務省ニ對スル御

○政府委員(男爵矢吹省三君登壇)
○政府委員(男爵矢吹省三君) 外務大臣差支ノ爲ニ出席出來マセヌノデ、私カラ御答申シマス、只今柏田君ノ外務省ニ對スル御

○政府委員(男爵矢吹省三君登壇)
○政府委員(男爵矢吹省三君) 外務大臣差支ノ爲ニ出席出來マセヌノデ、私カラ御答申シマス、只今柏田君ノ外務省ニ對スル御

○政府委員(男爵矢吹省三君登壇)
○政府委員(男爵矢吹省三君) 外務大臣差支ノ爲ニ出席出來マセヌノデ、私カラ御答申シマス、只今柏田君ノ外務省ニ對スル御

レテ新義州ガ水ニ浸ルコトハ明瞭ナル、ソレ等ノ點ニ付テハドウ云フ考ヲ以テ進マレルカ、決シテ是ハ水害ト無關係デハナイト思フノデアリマス、更ニ矢吹政務次官ニ一點御伺シタイノデアリマス、外務省ハ移住ノ獎勵ヲシテ居ル、獎勵費モ現ニ計上シテ居リマス、更ニ滿蒙ニ對シテハ經濟的ノ發展ヲシナケレバナラヌト云フノハ是ハ國策デアリマス、安東縣ニハ現在二千九百人、約三千人バカリノ在留者ガアリマスガ、其二割ハ製材ニ依テ衣食シテ居ルノデアリマス、若モ此關稅ガ大正九年ノ制度ニ復シマスナラバ、恐ラク此三千人ノ二割ト云フモノハ全ク衣食スルコトガ出来ナイコトニナリハセヌカ、越エテ新義州ノ方ニ移テ製材ヲスルカ、又之ヲ中心トシテ特色ナシテ事ヲヤツテ居ル人モ、隨テ在留スルコトガ困難ニナツテ内地ニ歸ルカ、或ハ朝鮮ノ方ニ移住シナケレバナラヌ結果ニ立至ルト思フノデアリマス、日本ガ滿洲ニ植民政策ヲ執リマシテ、今日マデ二丁有餘年、現在十八萬人ガ居ルノデアリマスガ、幾多ノ事情カラ中ニ困難ヲ感ジ、年々歲々此在留者ノ數ハ減ジテ居ルノデアリマス、今又斯ウ云フ問題ヲ茲ニ突如トシテ御出シニナルトスレバ、安東縣ノ製材ト云フモノ、死活ニ關スル問題ニナルト思ヒマス、是ハ外務省ノ長年執テ居タ所ノ大方針、殊ニ對滿ノ政策ト矛盾シハセヌカ、此點ニ付テ今一應御伺シテ置クノデアリマス

ルト云フヤウナ考ハ毛頭ゴザイマセヌ、唯、御尋ノ際ニ、其訓示ノ文章ヲ見テ居リマセヌト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス、只今アソコニ其文章ノ載テ訓示ガ參テ居リマスケレドモ、マダ精讀スル暇ガゴザイマセヌノデアリマスガ、大體御答致シマシタヤウニ、朝鮮ノ薪材、用材ト云フモノガ、大體カラ申シマス、十分デハナイト云フコトハ是ハ争ヒハ致シマセヌ、昨年差上デマシタ林政ニ關スル說明書ニモ其事ハアルノデアリマス、サリナガラ鴨綠江ノ上流地方ノ狀態ヲ申シマス、ドウ云フコトニナツテ居ルカト申シマス、昨年印刷致シマシタモノ、中ニモ其事ヲ書イテゴザイマス、一般ニ伐期ヲ經過シテ居ル所ノ老齡過熟林デアツテ、就中鴨綠江流域ニ於ケル針葉樹ハ蟲害ノ爲ニ漸次枯死シツ、アル現狀デアアル、然ルニ現在ノ一箇年ノ伐採量ハ、僅ニ二百八九十方尺締デアツテ、將來此伐採量ヲ持續シテ居テハ、徒ニ山地ニ多數ノ木材ヲ腐朽セシメル結果トナルノデアアルカラ、森林ノ更新、林利ノ保護及處分ノ關係ヲ考慮シテ、成ベク速ニ之ヲ有利ニ利用セントスル計畫ノ下ニ、各年度ニ要スル伐採量ヲ掲載致シテ居ルヤウナ次第ゴザイマスカラ、其邊ハ宜シク御覽ヲ願ヒタイト存ジマス、ソレカラ如ク鴨綠江流域ニ於テ木材ノ増伐ヲ致シマシタナラバ、其結果ハ下流ニ於テ水害ヲ激甚ナラシメルノデハナイカト云フ御尋デ、是モ一應御尤ニ存ジマス、御承知ノ通り鴨綠江ニ致シマシテモ、或ハ豆滿江ニ致シマシテモ、河身ガ或ハ對岸ニ偏リ、或ハ此方ニ偏リマシテ、流勢ガ一樣デアリマセヌ、ソレガ爲ニ平素デモ沿岸ニ於テ相當ノ被害ガアルノデアリマスガ、殊ニ洪水ノアリマスル時ハ、其被害ハ相當ニアルノデアリマス、現ニ昨年ノ如キ

モ可ナリ激シイ洪水ガアツタノデアリマス、之ヲ如何ニスルカト云フ御尋デアリマスルガ、是ハ御尤ト存ジマス、併ナガラ此洪水ガ朝鮮總督府ノ木材増伐計畫ニ依テ起ルモノトハ考ヘマセヌ、又木材ノ増伐計畫ヲ中止シテ此水害ヲ防ギ得ベシトハ考ヘマセヌ、何故カト申シマス、鴨綠江ノ流域ニ於キマシテ木材ノ伐採ヲ致シマスル時ニハ、既ニ相當ノ稚樹ガ發生ヲ致シテ、相當ノ林叢ヲ後ニ成シテ居ルノデアリマス、即チ老齡ノ樹ヲ伐採致シマシテモ、其跡ニハ相當ノ成木ガアルノデアリマス、天然更新ニ依テ其儘跡ハ林叢ヲ成スノデアアル、ノミナラズ、對岸ニ於テモ、矢張遠慮ナク木材ノ伐採ヲ致シテ居ルト云フヤウナ次第デアリマスカラ、朝鮮ノ側ニ於キマシテ老齡、過熟、蟲害等ノ爲ニ枯死セントスル材木ヲ、其儘ニ致シテ置クト云フコトハ、非常ニ不利益デアリマスカラ、之ヲ伐ルト云フコトハ洵ニ已ムヲ得ナイコト、存ジマス、而シテ鴨綠江ノ下流ニ於ケル水害ニ付キマシテハ、十分ナコトハ出来マセヌケレドモ、之ニ對スル水害復舊等ノ工事ハ、自ラ別ノ問題ニナルト考ヘマス(拍手)

モ可ナリ激シイ洪水ガアツタノデアリマス、之ヲ如何ニスルカト云フ御尋デアリマスルガ、是ハ御尤ト存ジマス、併ナガラ此洪水ガ朝鮮總督府ノ木材増伐計畫ニ依テ起ルモノトハ考ヘマセヌ、又木材ノ増伐計畫ヲ中止シテ此水害ヲ防ギ得ベシトハ考ヘマセヌ、何故カト申シマス、鴨綠江ノ流域ニ於キマシテ木材ノ伐採ヲ致シマスル時ニハ、既ニ相當ノ稚樹ガ發生ヲ致シテ、相當ノ林叢ヲ後ニ成シテ居ルノデアリマス、即チ老齡ノ樹ヲ伐採致シマシテモ、其跡ニハ相當ノ成木ガアルノデアリマス、天然更新ニ依テ其儘跡ハ林叢ヲ成スノデアアル、ノミナラズ、對岸ニ於テモ、矢張遠慮ナク木材ノ伐採ヲ致シテ居ルト云フヤウナ次第デアリマスカラ、朝鮮ノ側ニ於キマシテ老齡、過熟、蟲害等ノ爲ニ枯死セントスル材木ヲ、其儘ニ致シテ置クト云フコトハ、非常ニ不利益デアリマスカラ、之ヲ伐ルト云フコトハ洵ニ已ムヲ得ナイコト、存ジマス、而シテ鴨綠江ノ下流ニ於ケル水害ニ付キマシテハ、十分ナコトハ出来マセヌケレドモ、之ニ對スル水害復舊等ノ工事ハ、自ラ別ノ問題ニナルト考ヘマス(拍手)

○議長(粕谷義三君) 矢吹政府委員 [政府委員男爵矢吹省三君登壇] ○政府委員(男爵矢吹省三君) 柏田君ノ重ネテノ御質問ニ御答申上ゲマス、柏田君ハ滿洲ニ於ケル我が日本人ノ發展ノ上ニ、此法律改正ガ重大ナル影響ヲ及ボスモノデハナイカト云フ御質問デアリマシタ、此點ニ付テハ吾々ト致シマシテ、相當考慮致シタノデアリマス、固ヨリ此特例ガ存續シテ居ル方ガ、安東縣ニ於ケル木材業者ノ利益デアアラウト云フコトハ、是ハ明ナ事デアリマスガ、朝鮮總督府ニ於テ林業ノ根本政策カラ出發シテ、此法律改正ヲ致スノデアリマシテ、

ソレニハ洵ニ已ムヲ得ナイ、當然吾々ガ認メナケレバナラヌ理由ガアルノデアリマス、隨ヒマシテ此法律改正ヲ致シタカラト云フテ、安東縣其他滿洲ニ於ケル我が木材業ガ、致命的ノ打擊ヲ受ケル上云フガ如キコトハ、吾々ハ考ヘナイノデアリマス、或ル程度ノ打擊ハアラウカト思ヒマスガ、ソレ等ハ木材業者ノ努力、及其他ノ方法ニ依リマシテ致命的ノ打擊トハナラズ、十分彼等ノ生業ヲ維持スル餘地ハアルカト信ジテ居ルノデアリマス、隨テ只今ノ柏田君ノ御質問ノアリマシタヤウナ御懸念ハ、吾々ハ持テ居リマセヌ(拍手)

○議長(粕谷義三君) 三善清之君 [三善清之君登壇] ○三善清之君 諸君、私モ武藤君並ニ柏田君ト同様ニ、只今提案デアリマスル大正九年法律第五十三號、朝鮮ノ特例法律デアリマシテ、輸入木材ニ對シテ關稅ヲ撤廢シタ其案デアリマス、是ハ最モ朝鮮ノ其統治現狀ニ於テ、尙且適切ナル法律デアルト吾々ハ信ジテ居ル、然ルニモ拘ラズ、突然斯様ナ改正案ヲ提出セラレタコトハ、賢明ナル齋藤總督ノ爲ニ甚ダ惜ムノデアリマス、私ハ此質問ニ付テ條件ヲ附ケマスガ、總督府ノ官吏諸君カラ彼此レ御說明ヲ伺フコトハ、殆ド必要ガナイト私ハ思フ、而シテ總理大臣ノ只今柏田君ニ對スル答辯ニ於テ、拓殖云々ノ御說明ガアリマシタガ、固ヨリ朝鮮ノ拓殖事業ハ吾々モ必要デアルト感ジテ居リマスケレドモ、亞細亞大陸ニ於ケル經濟的大政策ト云フコトハ、ソレ以上ノ大ナルモノデアルト吾々ハ常ニ考ヘテ居ルノデアリマス、サウ云フ意味ニ於テ總理大臣及外務大臣ニ對シテ御尋ヲ致スノデアリマス、此度ノ朝鮮總督府ノ此案ハ、全ク羊頭ヲ掲ゲテ狗肉ヲ賣ルノ法律案デアルト私ハ

○議長(粕谷義三君) 三善清之君 [三善清之君登壇] ○三善清之君 諸君、私モ武藤君並ニ柏田君ト同様ニ、只今提案デアリマスル大正九年法律第五十三號、朝鮮ノ特例法律デアリマシテ、輸入木材ニ對シテ關稅ヲ撤廢シタ其案デアリマス、是ハ最モ朝鮮ノ其統治現狀ニ於テ、尙且適切ナル法律デアルト吾々ハ信ジテ居ル、然ルニモ拘ラズ、突然斯様ナ改正案ヲ提出セラレタコトハ、賢明ナル齋藤總督ノ爲ニ甚ダ惜ムノデアリマス、私ハ此質問ニ付テ條件ヲ附ケマスガ、總督府ノ官吏諸君カラ彼此レ御說明ヲ伺フコトハ、殆ド必要ガナイト私ハ思フ、而シテ總理大臣ノ只今柏田君ニ對スル答辯ニ於テ、拓殖云々ノ御說明ガアリマシタガ、固ヨリ朝鮮ノ拓殖事業ハ吾々モ必要デアルト感ジテ居リマスケレドモ、亞細亞大陸ニ於ケル經濟的大政策ト云フコトハ、ソレ以上ノ大ナルモノデアルト吾々ハ常ニ考ヘテ居ルノデアリマス、サウ云フ意味ニ於テ總理大臣及外務大臣ニ對シテ御尋ヲ致スノデアリマス、此度ノ朝鮮總督府ノ此案ハ、全ク羊頭ヲ掲ゲテ狗肉ヲ賣ルノ法律案デアルト私ハ

思フノデアアル、大切ナル我が亞細亞大陸ノ經濟政策ヲ根柢ヨリ破壊セラレル法案デアアル、甚ダ暴挙ヲ敢テスルモノデアルト私ハ信ズル者デアリマス、由來朝鮮ハ、所謂鶴林八道ハ御承知ノ通り殆ド秃山デアアル、而シテ唯、一部森林ノアルノハ其北部デ、所謂咸鏡北道或ハ南道ノ一部デアアル、蓋シ是ハ李朝時代ノ政治ノ頽廢ガ斯様ニナツテ、今日モ尙ホ森林ノアルノハ其一部デアルト云フコトハ、滿場ノ諸君、政府モ亦能ク御承知デアラウト思フ、ソコデ朝鮮ノ木材ガ甚ダ缺乏デアアル、爲ニ需要供給ノ均衡ヲ得セシメ、比較的安價ノ木材ヲ朝鮮開發ニ供給スル上ニ於テ必要ナリト思フテ、吾々ハ此大正九年ノ法律ヲ可決致シテ居ルノデアリマス、而シテ朝鮮ノ狀況ハ其當時ト今日ト——今總督府ノ官吏諸君ガ一旦出サレタ案ガカラ、ドウカシテ通過シタイト云フ者モアリマセウガ、吾々殆ド聽ク價ガ無い、當時ノ狀況ト今日ノ狀況トハ大體ニ於テ變テ居ラヌ、而シテ現今ニ於テ朝鮮全道ニ要スル木材ノ原木ノ消費高ハ、一箇年約一千五百万圓デアルト云フコトデアアル、是ハ確實ナル調ベデアアル、政府ハ如何ニ仰シヤルカ、吾々ハ確實ニ調ベテ居ルノデアアル、然ルニ斯様ナ大部分ノ木ヲ出スト云フコトハ逆モ出來ナイ、現在ニ於テ最大能力ガ一箇年ニ於テ僅ニ三百万尺締デアルト云フコトデアアル、其價ハ大體約六百万圓デアアル、サウスルト現在需要額ノ約四割シカ無い譯デアアル、ソレ以上朝鮮ニ於テ出スコトハ、大體今日ニ於テ不可能デアルト云フコトデアアル、ソレハドウデアアルカト云ハバ、北部ノ山又山ノ森林ニ於ケル咸鏡道ノ一部ノ木材デアアルカラデアアル、之ニ鐵道ヲ敷設スルコトハ頗ル不經濟、不可能ノ問題デアリマシテ、不經濟

ヲ構ハズニヤレバソレハ鐵道モ出來マセウ、而モ一方ニ於テ天然ノ運輸ノ賜物デアアル、即チ鴨綠江ト云フ大河ガアル、此大河ニ依テ此木材ヲ出スヨリ外ニ途ハナイ、是ハ絶對的ノ議論デアアル、又實際ニサウデアアル、然ルニ此鴨綠江ノ大河モ御承知ノ如ク、結氷期或ハ霖雨期デ年中故障ガアツテ、實際十分ニ使用サレルノハ無論四箇月ホカナイ、而モ鴨綠江ヲ使用シテ此木材ヲ伐出スト云フノハ、其七割八割ハ南滿洲ニ於ケル木材ヲ出シテ居ルノデアアル、朝鮮側カラ出ルノハ僅ニ二三割ニ過ぎナイ、左様ナ狀況ニ在ルニ拘ラズ、今回ノ朝鮮總督府ノ案ハ一箇年ニ三百万尺締ヲ出ス、今後十箇年ノ間ニ於テハ六百万尺締ヲ出ス、是ハ途方途轍モナイ空中樓閣デ、一部「ベテン」デアリマス、現在安東縣ヨリ朝鮮へ輸入シテ居ル金高ハ約百万圓デアアル、之ヲ尺締ニスルト製材原材ヲ併セテ百五十万尺締デアアル、斯様ナモノガ今供給サレテアル、即チ現在ノ需要ノ六割ハ鴨綠江カラ供給ヲシテ居ル、斯様ナ大量ノ原木ヲ此山又山ノ困難ナル咸鏡道方面カラ取ツテ、自給自足スルナント云フコトハ固ヨリ事實不可能ノコトハ明デアリマス、是ハ朝鮮ノ爲ニ、又朝鮮ノ國民ノ爲ニ、所謂朝鮮拓殖事業ノ開發ノ爲ニモ決シテ得策デナイ、甚ダ不經濟ナル法案デアルト深く信ズル者デアリマス、此點ニ付テハ先刻申シマシタ如ク、總督府ノ御役人方ノ答辯ハ聽ク必要ガナイ、總理大臣及外務大臣カラ賢明ナル答辯ヲシテ貫ヒタイモノデアリマス、其次ハ此法案ガ若シ通リマシタナラバ、安東縣方面ヨリ朝鮮ニ輸入スル木材ニ付テハ今後關稅ヲ掛ケラルル、隨テ木材ハ高クナル、斯ウ云フコトデアリマスガ、ソレハ總督府ノ營林署ト新舊義洲邊リニ居ル一部ノ製材商人ニハ多少便

利デアリマセウガ、國策ノ上カラ申シマシテハ、朝鮮ノ爲ニモ甚ダ宜シクナイ、斯様ニ考ヘル、朝鮮ノ爲ニモ大阻害デアアルノミナラズ、此日露ノ大戰役ハ吾々國民全力ノ財產生命ヲ投ジテ此戰勝ヲ得タ、其戰勝ノ結果得タル此所謂既得權デアアル、此安東縣ノ國民ノ經濟ヲ、根柢カラ覆ヘスコトニナルノデアアル、政府ハ安東縣ノモノヲ以テ外國人ノ經營デアルト見テ居ルノデアアルカ否ヤ、眞逆サウ云フ馬鹿ナ政府ノ方モアルマイト思フ、米國ノ木材ヲ日本ニ輸入セラルル如クニ見テ居ルノカ否ヤ、左様ナ考モノカラウト思フ、海ニ奇怪ナ案デアアル、此案ハ畢竟大ナル愚案デアアル、我が國民ノ滿蒙ニ於ケル經濟發展ヲ大ニ阻碍妨害スルモノデアルト本員ハ認メルノデアリマス、政府自身ニ於テ此案ヲ撤回スルノ意思ガ有ルカ無イカ、過日來仄ニ聞ク所ニ依レバ是ハ私ノ推測デアリマスルケレドモ、蓋シ齋藤總督ノ旨判、斯様ニ考ヘルノデアアル、外務省アタリニ於テ無論賢明ナル御考ガアルデアラウト思フ、然ルニ此案ガ茲ニ提出サレタコトハ、實ニ吾々國家ノ爲ニ甚ダ憂慮ニ堪ヘナイ、政府ガ撤回セズトモ議會ハ之ヲ否決スルデアラウト思フ、ソレデモ政府ハ御構ヒナイカ、第三ニハ滿蒙並ニ西伯利地方ニ對スル所ノ經濟發展ハ、鴨綠江ヲ界トシテ大連、安東縣ハ其門戸デアリマス、此門戸ハ日露戰役ノ以前ニ於キマシテ、安東縣ナドニハ日本人ノ隻影ガモ見受ケナカタノデアリマス、左様ナ處ガ今日我が滿蒙開發ノ經濟的大機關ノ門戸ニナツテ居ルノデアアル、即チ日本人ノ大都市ヲ今日形成シテ居ルノデアアル、今ヤ安東縣ハ大連ト共ニ、我が亞細亞大陸ノ一大策源地デアリマス、斯様ナ大切ナル大陸政策ノ大機關デアアル安東縣ハ、鴨綠江ノ上流ヨリ下ル木材ヲ以テ之ヲ

一大生命トシテ居ルノデアリマス、然ルニ外國人ナラザル日本人ノ經營セル此業ニ對シテ、大打撃ヲ與ヘ、而シテ安東縣ガ二十年此方經濟的大發展ヲ致シタモノヲ根柢ヨリ破壊セントスルノハ、洵ニ無業極マル育目的法案デアルト私ハ斷ズルニ於テ憚ラナイ、故ニ政府ニ對シテ茲ニ警告ヲ致スト同時ニ、滿場ノ諸君ハドウカス様ナ法案ニ向ツテハ、即決否決ヲシテ貫ヒタイ、斯様ニ意味ニ於テ質問ヲ致シマス(拍手)

(國務大臣若槻禮次郎君登壇)

○國務大臣(若槻禮次郎君) 三善君ハ本案ニ付テ政府トハ異ツク意見ヲ御持ニナツテ居ルヤウデアリマス、即チ本案ノ如クスルコトハ、朝鮮ノ林業ノ爲ニモ宜クナイト云フ出發點カラ御質問ガ起ツクヤウデアリマス、之ニ付テハ先程カラ朝鮮總督府ノ政府委員並ニ私モ之ニ言及致シマシタガ、朝鮮總督府ニ於テ林業ノ計畫ヲ大正十五年カラ立テマシタ時ハ、矢張伐採ハ何處ノ材木ヲ伐採スル、植林ハ何處ニ植林ヲスル、而シテ外國カラ入ルモノハドウ云フヤウニ完全ニ取扱フカト云フコトニ付テ、各其計畫ヲ定メテアリマシタ、其結果ガ茲ニ現ハレタノデアリマシテ、政府ノ見ル所ハ三善君ノ御覽ニナツテ居ル所トハ違フテ居ルノデアリマス、ソレ故ニ、此點ハ、先程朝鮮總督府ノ政府委員ノ答ヘタ所ヲ以テ、三善君ノ第一ノ御質問ノ答辯ニ私ハ致シタイト思ヒマス、第二ノ御質問ハ、本案ヲ以テ洵ニ宜シクナイト御覽ニナツテ、政府ハ之ヲ撤回スル意思アリヤ否ヤト云フコトデアリマシタ、政府ハ相當ノ法律案デアルトシテ提出致シタノデアリマスカラ、撤回スルト云フ意思ハナイノデアリマス、第三ハ、安東縣ニ於テ日本人ガ盛ニ事業ヲシテ居ル、是ハ多年ノ努力ニ依テ滿洲ノ入口デ是ダケニ發展

シテ居ル、之ニ對スル是ガ打撃ニナル——
是ハ御質問デアアルカドウカ存ジマセヌ
ガ——ソレ故ニ反對デアアルト云フ御意見ノヤ
ウデアリマス、安東縣ニ於テ日本人ガ事業
ヲ段々進メテ參テ今日ノ如クナリマシタ
コトハ、私モ三善君ト同様ニ洵ニ喜バシイ
事ト存ジテ居ルノデアリマス、益、彼等ノ
事業ガ發展センコトヲ切ニ祈ルノデアリマ
ス、隨テ何等カノ法制ノ立法ニ依テ彼
等ノ事業ニ妨ゲノ起ルコトハ、洵ニハ避
ケナケレバナラヌコトデアリマシテ、其點
ノミカラ見マス、實ニ是ハ安東縣ノ人ニ
ハ同情スベキコトデアリマス、同時ニ又
政府トシテハ、朝鮮總督府ノ施設ニ付テ出
來ルダケ其實行ヲ期セネバナラヌノデアリ
マシテ、兩者ノ間ノ利害ヲ調和スルコトハ
甚ダ是ハ容易デナイノデアリマス、安東縣
ニ於テ事業ヲシテ居ル人ニモ、固ヨリ同情
致シマスケレドモ、朝鮮ニ於ケル施設モ亦
是ガ遂行ヲ爲サシメナケレバナラヌト云フ
點ニ於テ、若干安東縣ノ人ニハ妨ゲニナリ
マセウケレドモ、朝鮮ノ林業經營ノ爲ニハ
已ムヲ得ナイト政府ハ考ヘテ居ルノデアリ
マス(拍手)

〔三善清之君登壇〕

○三善清之君 只今總理大臣ノ御意見ヲ伺
ヒマシタガ、滿蒙方面ニ對スル我ガ經濟政
策ニ付テハ、非常ニ熱心ナ御意見ノアリマ
スコトヲ拜聴シテ、私共甚ダ満足ニ存ジマ
ス、唯、今回ノ朝鮮ノ此案ハ、失禮ナガラ
總理大臣ガ御分リニナラヌ、朝鮮ノ俗吏ノ
書イタ物ヲ御目ニ懸ケタ位デ、貴方ノ御答
辯デハ吾々議員ハ決シテ満足致シマセヌ、
斯様ナ聲高ノ御答ヲシテ此壇ヲ降りマス
○議長(粕谷義三君) 日程第二、右議案ノ
審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シ
マス

第二 右議案ノ審査ヲ付託スベキ委員
ノ選舉
○砂田重政君 本案ハ議長指名、九名ノ委
員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
○議長(粕谷義三君) 砂田君ノ動議ニ御異
議アリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
○議長(粕谷義三君) 御異議ナイト認メマ
ス、仍テ砂田君ノ動議ノ如ク決シマシタ
○砂田重政君 日程變更ノ動議ヲ提出致シ
マス、即チ政府提出、御料地拂下地ノ地租
及登録稅免除ニ關スル法律案ノ第一讀會ノ
續ヲ開キ、委員長ノ報告ヲ求メ、審議ヲ進
メラレンコトヲ望ミマス
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
○議長(粕谷義三君) 砂田君ノ動議ニ御異
議アリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
○議長(粕谷義三君) 御異議ナイト認メマ
ス、仍テ日程ハ變更セラレマシタ、即チ茲
ニ御料地拂下地ノ地租及登録稅免除ニ關ス
ル法律案ノ第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員
長淺川浩君
御料地拂下地ノ地租及登録稅免除ニ關ス
ル法律案(政府提出)
第一讀會ノ續(委員長報告)
報告書
一御料地拂下地ノ地租及登録稅免除ニ關
スル法律案(政府提出)
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致
候此段及報告書候也
昭和二年二月二十六日
委員長 淺川 浩
衆議院議長粕谷義三殿
〔淺川浩君登壇〕
○淺川浩君 御付託ニナリマシタ御料地拂

下地ノ地租及登録稅免除ニ關スル法律案ノ
委員會ノ經過及結果ヲ御報告致シマス、本
法案ハ北海道ニ於ケル御料地ニ屬スル未開
地ノ開拓ヲ爲シ、又ハ未開地ヲ拂下ゲテ開
墾ヲ爲シ、或ハ未開地ヲ拂下ゲテ地ノ儘
使用致ス、此各土地ニ對シマシテ、民有ニ
歸シタル翌年ヨリ十箇年間ノ免租ヲ爲シ、
且ツ所有權取得ノ登録稅ヲ免除致スト云フ
單行法デアアルノデアリマス、本法ノ成立ニ
依リマシテ、北海道ニ於ケル一般國有未開
地ニ於テ有スル所ノ免租ノ條件ト均衡ヲ得
ルコトニナルノデアリマシテ、委員ノ各位
ヨリ政府當局ニ對シ二三ノ質疑應答ヲ重ネ
タル結果、希望ヲ附シマシテ原案ヲ可決致
シタルデアリマス、其希望ノ内容ハ、北海
道ニ於ケル一般國有未開地ニハ、大正七年法
律第四十三號ヲ以テ即チ十箇年免租後、尙
ホ開墾ニ等シキ勞費ヲ投ジ、地種ノ變更ヲ
ナシタル場合ハ、更ニ二十年乃至三十五年
ノ免租期間ガ附加セラレテ居ルノデアリマ
ス、即チ本法ニ依リマシテ免租期間經過ノ
後、更ニ前段申上ダマシタル大正七年法律
第四十三號ニ依リ、二十年乃至三十五年ノ
免租期間ヲ附加セラレタク、及ビ未開地處
分法ニ依リマシテ民有ニ歸シタル後、若
千年地方稅免除ノ特例ガアルノデアリマス
ルカラ、同様其途ヲ開カレタシト云フ希望
ヲ附シタルデアリマス、政府當局ニ於キマ
シテモ、本希望條件ニ同意ヲセラレタノデ
アリマスルカラ、討論ヲ用キズシテ滿場一
致原案ヲ可決致シタ次第デアリマス、何卒
委員會決定ノ通り御贊成アラシコトヲ希望
致シマス(拍手)
○議長(粕谷義三君) 質疑ノ通告ガアリマ
ス——青木精一君
〔青木精一君登壇〕
○青木精一君 私ハ只今議題トナリマシ

テ、委員長ノ報告ノアツタ本案ニ牽聯ヲ致
シテ、大藏大臣 農林大臣ニ質問ヲ申上ダ
タイノデアリマス、本案ハ北海道ニ於ケル
所ノ御料地ノ拂下地ニ對シテ、民有トナ
タ翌年ヨリ十箇年間地租ノ免除ヲシ、又所
有權取得後ニ於ケル所ノ登録稅ヲ免除スル
ト云フ案デゴザイマス、洵ニ結構ノ案デア
ルニハ相違ナイ、所謂北海道ニ於ケル國有未
開地ノ民有ニ歸シタルモノニ對スル權衡上
此案ヲ出シタト云フ政府ノ理由デアリマ
ス、然ルニ私ガ政府ニ伺フテ置キタイノハ、
唯、單リ北海道ニシテ此法律ヲ設ケルト云フ
コトハドウ云フ理由デアアルカ、府縣ニ於キ
マシテモ御料地ノ拂下ト云フコトハ頗々ト
シテ行ハレテ居ルノデアアル、然ルニ府縣ニ
於キマシテハ、御料地ノ拂下地ニ對シテ、
此特典ヲ與ヘラレナイ、北海道ニシテモ
ヲ與ヘルト云フコトハ、權衡上甚ダ當ヲ得
ザルモノデアアルト私ハ思フ、政府ガ本案ヲ
提出シタル所ノ主ナル理由ハ、國有未開地
處分法トノ權衡上ノ見地ヨリシテ提案サレ
タコトデゴザイマスルガ、私ハ更ニ大ナル
權衡上ノ見地ヨリ致シテ、斯ウ云フ特典ヲ
内地ニ於テモ與ヘルヤウナ方針ヲ執ラレ、
又法案ヲ出シテ載キタイノデアアル、政府ニ
於テ之ヲ提案スルノ意思ガアリマスカ、將
來内地ニ於ケル府縣ノ御料地拂下地ニ對シ
テモ、地租ノ一定期間ノ免除、登録稅ノ免
除ヲナサル御意思ガアルカドウカト云フコ
トヲ伺フ、殊ニ小サナル所ノ區域ノ拂下地
ナラバ、大シタ問題デモアリマセヌガ、大
集團ノ拂下地積ニ對シテハ、内地ノ府縣ニ
於テモ斯ウ云フヤウナ特典ヲ與ヘル必要ニ
迫ラレテ居ルノデアアル、即チ政府ニ於テモ
相當考慮セラレテ居ル所ノ人口食糧問題、
開墾助成ノ促進ノ問題、造林獎勵ノ問題、
斯ウ云フヤウナ國策ヲ遂行スル上カラ申シ

マシテモ、又一般的ノ農村振興ノ上カラ申シマシテモ、斯ウ云フ特典ヲ府縣ノ拂下地ニ於テモ認ムルヤウニシナカッタナラバ、甚ダ公正ヲ缺クモノデアルトハ思フ、此ニ於テ私ハ農林大臣ニ御伺スルノデアリマスガ、農林省ニ於テハ種々ナル方面ヨリ造林ノ獎勵、人口食糧問題ノ解決ノ上ニ於テ施設計畫ヲ爲シ、又爲サントスル抱負ガアルニ相違ナイノデアリマスガ、北海道ニ與ヘントスル所ノ特典ヲ内地ノ拂下地ニモ與ヘタナラバ、相當ナル效力ヲ持來スコトハ言ハズシテ明デアル、各府縣ニ於テ數千町歩ハレテ居ルノデゴザイマス、ソレニ對シテ府縣ニ於テハ、拂下後直ニ地租ヲ課スル、北海道ダケハ特典ヲ與ヘルト云フコトハ、左ナキダニ北海道方面ニ對シテハ、拓殖計畫等ニ依ッテ相當ナル特典ガ與ヘラレテ居ル、府縣ハ顧ミラレズシテ、北海道ニハ斯ノ如キ單行法マデモ出シテ特典ヲ與ヘルト云フニ至ッテハ、政府ノ處置ガ甚ダ徹底致サナイ憾ガアルノデアリマス、故ニ農林大臣ト致シマシテハ、此ノ人口食糧問題、或ハ造林獎勵ト云フヤウナ見地ヨリ致シマシテ、今日ノ民力ノ程度ニ鑑ミル所ガアリマシテ、内地ノ拂下地ニ對シテ、此法案ノ認ムル所ノ特典ヲ將來與ヘルコトヲ可トスルノ意見ヲ有セラレカドウカ、此點ニ付テ御深切ナル御答辯ヲ戴キタイノデアリマス、即チ大藏大臣、農林大臣ヨリ、大要今私ノ申上デマシタ所ノ趣旨ニ付テ、政府ノ方針、政府ノ抱負、計畫ノ在ル所ヲ御示ヲ願ヒタイノデゴザイマス(拍手)

〔國務大臣片岡直温君登壇〕

○國務大臣(片岡直温君) 青木君ノ御質問ニ御答ヲ申上デマス、北海道ニ於ケル特別ノ法律ヲ作リマスコトハ、是ハ未開地ノ開墾、其他發達ヲ促ス必要上ヨリ、此特別ヲ布クノデアリマス、内地ニ於キマシテモ、北海道ノ如ク拓殖開發ノ必要ノ無イコトハアリマセヌガ、既ニ相當ニ發達シテ居ルノデアル(ノウ)北海道ニ於キマシテハ、拓殖開發ヲ促ス必要ガアルノデアリマスカラ、此特別ヲ布クノデアリマス、内地ニ於テハ之ヲ適用致サヌ積デアリマス(拍手)

〔國務大臣町田忠治君登壇〕
○國務大臣(町田忠治君) 青木君ノ私ニ對スル御尋ニハ、大體ニ於キマシテ御同感デアリマス、唯、今日議題ニ上ッテ居リマスルノハ、北海道拓殖ノ必要カラ、北海道ニ限ラレタル法律ガ茲ニ提出サレタノデアリマス、而シテ斯様ナ政策ハ内地ニ向ッテモ行フ考ガ、農林當局トシテ有ルカ無イカト云フ御尋デアリマシタガ、青木君ガ御承知ノ通り、地租條例ニ依リマシテ釐下年限、或ル一定ノ間ニ免相スルトカ、租稅ヲ高メヌトカ云フ特別ナル取扱ガ、地租條例ニ依ッテ出來テ居ル上ニ、御承知ノ如ク三十四年ノ法律第三十號ニ依リマシテ、地租條例ニ依ッテ特別ナル保護ヲ開墾者等ニ與ヘテ居ル以外ニ、更ニ最長七十年ニマデ達スル間ハ、事情ニ依ッテ免相若クハ租稅ヲ上セヌト云フ餘程厚イ保護ヲ開墾ノ上ニ行ッテ居ルノデアリマス、唯、今日ノ法律ニハ、或ハ登錄稅ヲ課セヌトカ云フヤウナ、其他ノ保護ヲスル條項モアリマスルノデアリマス、御意見ノ如ク食糧問題ヲ解決スルニハ、單リ北海道ノミナラズ内地ニ於テ、集團地其他現在開墾助成法ニ依ッテ實行シテ居ルモノモアリマシテ、多クハ内地ニ於テ食糧問題ヲ解決スル事ノ主ナルモノハ内地ニ在リマスルガ故ニ、只今御意見ノ事ヲ農林當局トシテハ研究モシ考慮モ致シテ、何等カノ途ガアリマスレバ、御希望ニ副フ機會モアラウト思ヒマスルガ、唯、茲デ申上ゲテ置キタイノハ、内地ニ於キマシテモ地租條例ニ於テ保護スル外ニ、只今申ス三十四年ノ法律ニ依ッテ、更ニ進シテ保護ヲ内地ノ開墾者ニ向ッテ與ヘテアルト云フコトハ御承知デアリマセウガ、附加ヘテ御參考マデニ申上ゲテ置キマス(拍手)

○議長(粕谷義三君) 質問ノ通告モアリマセヌカラ、直ニ採決致シマス、本案ノ第二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ

○砂田重政君 直ニ第二讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ委員長報告を通リ、可決確定セラレンコトヲ望ミマス

〔贊成〕贊成ト呼フ者アリ

○議長(粕谷義三君) 砂田君ノ動議ニ御異議ナシト認メマス、仍テ直ニ第二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス

御料地拂下地ノ地租及登錄稅免除ニ關スル法律案 第二讀會(確定議)

〔異議ナシ〕異議ナシト呼フ者アリ

○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ第三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通り可決確定致シマシタ(拍手)

○砂田重政君 更ニ日程變更ノ動議ヲ提出致シマス、即チ政府ノ同意ヲ求メテ、日程第二十、議院法中改正法律案ノ第一讀會ノ續ヲ開キ、委員長ノ報告ヲ求メ、引續イテ其審議ヲ進メラレンコトヲ望ミマス

○議長(粕谷義三君) 砂田君ノ日程變更ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス、政府モ同意デアリマス、仍テ日程ハ變更セラレマシタ、即チ日程第二十議院法中改正法律案ノ第一讀會ノ續ヲ開キ、委員長ノ報告ヲ求メマヌス、委員長黒住成章君

變更セラレマシタ、即チ日程第二十議院法中改正法律案ノ第一讀會ノ續ヲ開キ、委員長ノ報告ヲ求メマヌス、委員長黒住成章君

第二十 議院法中改正法律案(小川平吉君外二十六名提出)

報告書 第一讀會ノ續(委員長報告)

一 議院法中改正法律案(小川平吉君外二十六名提出)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和二年二月二十五日 委員長 黒住 成章

衆議院議長粕谷義三殿

〔黒住成章君登壇〕

○黒住成章君 付託ニナリマシタ法律案ノ中デ、小川平吉君外二十六名提案ニ係ル議院法中改正法律案ノ委員會ノ願末ヲ御報告致シマス、本案ハ貴族院ニモ衆議院同様、豫算ノ審査期間ヲ定メントスル法案デアリマス、而シテ此法案ハ既ニ本院ヲ二回通過ヲ致シテ居リマスルノミナラズ、此度ノ提案ハ各派聯合ノ提案ニ係ルノデゴザリマシテ、隨テ案自體ニハ質疑應答ハナイノデアリマス、殆ド審議ハ今迄ニ盡サレテ居リマス、唯、委員中ヨリ政府委員ニ對シテ質問ガアリマシテ、既ニ二回此法案ガ御提案ニナリ、而シテ此支持ニ努メラレテ居ルニ拘ラズ、今期議會ニ於テ此御提案ガ無イノハ如何ナル理由デアルカ、又此案ガ貴族院ニ廻シタ場合ニ、政府ノ意見ヲ求メラレタ時ニハ、如何ナル意見ヲ有シテ居ルカ、是ガ委員諸君ヨリ出マシタル質問デアアルノデアリマスルガ、政府委員法制局長官ノ答辯ニ徹底ヲ缺ク憾ミガアリマシタノデ、更ニ總理

大臣ノ出席ヲ求メタ次第アリマス、而シテ總理大臣ニ對シ、委員青木精一君ヨリ前法制局長官ニ對スル同様ノ質疑ガアリマシタ、之ニ對シ總理大臣ハ、今期議會ニ提案ヲセヌノハ當初ニ於テ審議未了ニ終リ、後ニ否決ニナツタノデ、今期議會ニハ見合セタノデアル、本案ニ對シテノ豫テ提案ヲ致シテ居ル精神趣旨ト云フモノハ少シモ變ラヌノデアル、斯様ナ御答辯デアリマシタ、更ニ委員ヨリ然ラバ貴族院ニ本案ガ廻ツタ時ニ、政府ハ如何ナル態度ヲ執ルカ、之ニ對シテ總理大臣ハ固ヨリ反對デナイ、贊成デアル、同意ヲ致スト明瞭ニ御答辯ガアツタノデアリマス、之ヲ以チマシテ質問ハ打ち、如上述べマスル通りノ案デゴザリマスルカラ、討論ヲ用ヒズ直ニ採決ニ入りマシタ、即チ本案ヲ委員會ハ満場一致デ可決致シマシタ、此段御報告致シマス

○議長(粕谷義三君) 本案ニ付キマシテハ質問ノ通告ガアリマセヌ、仍テ直ニ採決致シマス、本案ノ第二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認めマス、仍テ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ
○砂田重政君 直ニ第二讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通り、可決確定セラレントヲ望ミマス
〔贊成〕贊成ト呼フ者アリ
○議長(粕谷義三君) 砂田君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認めマス、依テ直ニ第二讀會ヲ開キ議案全部ヲ議題ト致シマス

大臣ノ出席ヲ求メタ次第アリマス、而シテ總理大臣ニ對シ、委員青木精一君ヨリ前法制局長官ニ對スル同様ノ質疑ガアリマシタ、之ニ對シ總理大臣ハ、今期議會ニ提案ヲセヌノハ當初ニ於テ審議未了ニ終リ、後ニ否決ニナツタノデ、今期議會ニハ見合セタノデアル、本案ニ對シテノ豫テ提案ヲ致シテ居ル精神趣旨ト云フモノハ少シモ變ラヌノデアル、斯様ナ御答辯デアリマシタ、更ニ委員ヨリ然ラバ貴族院ニ本案ガ廻ツタ時ニ、政府ハ如何ナル態度ヲ執ルカ、之ニ對シテ總理大臣ハ固ヨリ反對デナイ、贊成デアル、同意ヲ致スト明瞭ニ御答辯ガアツタノデアリマス、之ヲ以チマシテ質問ハ打ち、如上述べマスル通りノ案デゴザリマスルカラ、討論ヲ用ヒズ直ニ採決ニ入りマシタ、即チ本案ヲ委員會ハ満場一致デ可決致シマシタ、此段御報告致シマス

大臣ノ出席ヲ求メタ次第アリマス、而シテ總理大臣ニ對シ、委員青木精一君ヨリ前法制局長官ニ對スル同様ノ質疑ガアリマシタ、之ニ對シ總理大臣ハ、今期議會ニ提案ヲセヌノハ當初ニ於テ審議未了ニ終リ、後ニ否決ニナツタノデ、今期議會ニハ見合セタノデアル、本案ニ對シテノ豫テ提案ヲ致シテ居ル精神趣旨ト云フモノハ少シモ變ラヌノデアル、斯様ナ御答辯デアリマシタ、更ニ委員ヨリ然ラバ貴族院ニ本案ガ廻ツタ時ニ、政府ハ如何ナル態度ヲ執ルカ、之ニ對シテ總理大臣ハ固ヨリ反對デナイ、贊成デアル、同意ヲ致スト明瞭ニ御答辯ガアツタノデアリマス、之ヲ以チマシテ質問ハ打ち、如上述べマスル通りノ案デゴザリマスルカラ、討論ヲ用ヒズ直ニ採決ニ入りマシタ、即チ本案ヲ委員會ハ満場一致デ可決致シマシタ、此段御報告致シマス

大臣ノ出席ヲ求メタ次第アリマス、而シテ總理大臣ニ對シ、委員青木精一君ヨリ前法制局長官ニ對スル同様ノ質疑ガアリマシタ、之ニ對シ總理大臣ハ、今期議會ニ提案ヲセヌノハ當初ニ於テ審議未了ニ終リ、後ニ否決ニナツタノデ、今期議會ニハ見合セタノデアル、本案ニ對シテノ豫テ提案ヲ致シテ居ル精神趣旨ト云フモノハ少シモ變ラヌノデアル、斯様ナ御答辯デアリマシタ、更ニ委員ヨリ然ラバ貴族院ニ本案ガ廻ツタ時ニ、政府ハ如何ナル態度ヲ執ルカ、之ニ對シテ總理大臣ハ固ヨリ反對デナイ、贊成デアル、同意ヲ致スト明瞭ニ御答辯ガアツタノデアリマス、之ヲ以チマシテ質問ハ打ち、如上述べマスル通りノ案デゴザリマスルカラ、討論ヲ用ヒズ直ニ採決ニ入りマシタ、即チ本案ヲ委員會ハ満場一致デ可決致シマシタ、此段御報告致シマス

〔異議ナシ〕「異議ナシ」ト呼フ者アリ
○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認めマス、仍テ第三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通り可決確定致シマシタ(拍手)次ハ日程第三、花柳病豫防法案ノ第一讀會ヲ開キマス

第三 花柳病豫防法案(政府提出) 第一讀會
花柳病豫防法案
花柳病豫防法
第一條 本法ニ於テ花柳病ト稱スルハ梅毒、淋病及軟性下疳ヲ謂フ
第二條 主務大臣ハ業態上花柳病傳播ノ虞アル者ヲ診療セシムル爲中又ハ特に必要ト認ムル其ノ他ノ公共團體ニ對シ診療所ノ設置ヲ命ズルコトヲ得
前項ノ規定ニ依リ設置スル診療所ニ於ケル診療ノ費用ノ負擔及徵收ニ關シテハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
第三條 國庫ハ勅令ノ定ムル所ニ從ヒ前條ノ規定ニ依リ診療所ヲ設置スル市其ノ他ノ公共團體ニ對シ其ノ診療所ニ關シ市其ノ他ノ公共團體ノ支出スル經費ノ六分ノ一乃至二分ノ一ヲ補助ス
第四條 主務大臣ハ期間ヲ指定シ適當ト認ムル公私私立ノ診療所ヲ其ノ承諾ヲ得テ第二條第一項ノ規定ニ依リ設置スル診療所ニ代用スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ第二條第二項及前條ノ規定ヲ準用ス
第五條 傳染ノ虞アル花柳病ニ罹レルコトヲ知リテ賣淫ヲ爲シタル者ハ三月以下ノ懲役ニ處ス
傳染ノ虞アル花柳病ニ罹レルコトヲ知リ又ハ知ルベクシテ賣淫ノ媒合又ハ容止ヲ爲シタル者ハ六月以下ノ懲役又ハ

五百圓以下ノ罰金ニ處ス
前二項ノ場合ニ於テ傳染防止ニ付相當ノ方法ヲ講ジタル者ハ其ノ刑ヲ減輕ス
第六條 醫師傳染ノ虞アル花柳病ニ罹レル者ヲ診斷シタルトキハ傳染ノ危険及傳染防止ノ方法ヲ指示スベシ
附則
本法施行ノ期日ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ各條ニ付之ヲ定ム
○議長(粕谷義三君) 依政府委員(政府委員俵孫一君登壇)
○政府委員(俵孫一君) 只今上程ニナリマシタ花柳病豫防法案ノ説明ヲ申上ゲマス、花柳病ハ結核ヤ又酒精中毒ノ此二ツノモノト共ニ、三大庶民病ト稱セラレテ、何レノ民族ノ間ニ於キマシテモ、深く且ツ一般ニ浸潤シテ居ル所ノ疾患デアリマシテ、更ニ是ガ其子孫及後裔ニ及ボス所ノ害毒モ甚シクテ、洵ニ憂慮スベキモノデアアルデアリマス、ソレ故ニ各國ハ共ニソレト必要ナル法規ヲ制定致シマシテ、其施設ヲ備ヘテ、以テ本病ノ豫防撲滅ニ最善ノ努力ヲ致シテ居ルノデアリマス、然ルニ從來我國ニ於キマシテハ、花柳病ニ對シテ豫防法ノ制定ヲ見ナカッタコトハ、衛生行政上ノ缺陷デアリマシテ、識者ト共ニ洵ニ遺憾トスル所デアリマス、是ニ於キマシテ曩ニ保健衛生調査會ノ答申ニ基イテ、其答申案ヲ基礎トシテ本案ヲ作製致シマシタ譯デアアルノデアリマス、其要旨ノ主ナルモノヲ申上ゲマスレバ、第一ハ花柳病毒傳染ノ危険最モ大ナリト認メル所ノ、特殊業態者ニ對シテ、容易ク花柳病ノ診療ヲ受クルコトヲ得セシムル爲ニ必要ナル設備ヲ完成シ、以テ是等業態者間ノ花柳病患者ヲ減少致スト云フコトノ意味ガ第一デアリマス、第二ハ傳染ノ虞

アル花柳病ニ罹レテ居ル者ノ賣淫及其媒合容止、斯ウ云フ行爲ニ對シマシテハ、健全ナル者ノ淫賣ヨリモ、ヨリ多ク重キ刑ヲ科シマシテ、以テ病者ノ淫賣ヲスルコトヲ抑制シマシテ、以テ本病ノ傳播ヲ防止スルト云フコトガ第二ノ要點デアアルノデアリマス、此案固ヨリ敢テ絶對完全ナルモノトハ言ヒ能ハザル迄モ、現狀ニ於テ實行シ得ベキ先ゾ以テ最良ノ方法トシテ、花柳病傳播ノ其主要源泉ニ對シテ、是ガ防止方法ヲ講ズルモノデアリマシテ、花柳病豫防上多大ノ貢獻アルモノト信ジテ疑ヒマセヌ、願クハ慎重御審議ノ上、御協賛ヲ與ヘラレントヲ希望致シマス(拍手)
○議長(粕谷義三君) 本案ニ對スル質疑ヲ許シマス、吉良元夫君
〔吉良元夫君登壇〕
○吉良元夫君 只今議題ト相成リマシタ此法案ハ、私共専門ノ知識ノアリマセヌ者ハ、成ベク發言ヲ避ケタイノデアリマスルケレドモガ、是レ私共ノ感ズル所ニ於テ、少シ異様ノ感ガアルノデアリマスルカラ、敢テ質疑ヲ致シタイノデアリマス、勿論明ニ此案ノ提出理由ニ於テ御卸ニナツテ居リマスル通りニ、花柳病豫防ト云フコトハ、刻下ニ於テ極メテ必要ナ事デアアルト云フコトヲ吾々モ信ズル者デアリマス、併ナガラズノ如キ問題ハ、國民ノ文化ガ進歩致シマシテ、道德品行ガ向上致シマスレバ、斯ノ如キ法案ハ不用ニ屬スベキ性質ノモノデアルト吾々ハ確信シテ居ルノデアリマス、今日ハ御承知ノ如ク我が帝國ノ文化ハ、明治大帝ノ御治世ニ相成リマシテ、此六十年間ニ世界列國ノ五百年以上ノ經過ヲ迪タ程ノ進歩アリト云フ大家ノ御説デアリマス、吾々モ左様ニ信ジテ居ル者デアリマス、大體私ガ異様ニ感ズル點ヲ概略申上ゲマスル

アル花柳病ニ罹レテ居ル者ノ賣淫及其媒合容止、斯ウ云フ行爲ニ對シマシテハ、健全ナル者ノ淫賣ヨリモ、ヨリ多ク重キ刑ヲ科シマシテ、以テ病者ノ淫賣ヲスルコトヲ抑制シマシテ、以テ本病ノ傳播ヲ防止スルト云フコトガ第二ノ要點デアアルノデアリマス、此案固ヨリ敢テ絶對完全ナルモノトハ言ヒ能ハザル迄モ、現狀ニ於テ實行シ得ベキ先ゾ以テ最良ノ方法トシテ、花柳病傳播ノ其主要源泉ニ對シテ、是ガ防止方法ヲ講ズルモノデアリマシテ、花柳病豫防上多大ノ貢獻アルモノト信ジテ疑ヒマセヌ、願クハ慎重御審議ノ上、御協賛ヲ與ヘラレントヲ希望致シマス(拍手)
○議長(粕谷義三君) 本案ニ對スル質疑ヲ許シマス、吉良元夫君
〔吉良元夫君登壇〕
○吉良元夫君 只今議題ト相成リマシタ此法案ハ、私共専門ノ知識ノアリマセヌ者ハ、成ベク發言ヲ避ケタイノデアリマスルケレドモガ、是レ私共ノ感ズル所ニ於テ、少シ異様ノ感ガアルノデアリマスルカラ、敢テ質疑ヲ致シタイノデアリマス、勿論明ニ此案ノ提出理由ニ於テ御卸ニナツテ居リマスル通りニ、花柳病豫防ト云フコトハ、刻下ニ於テ極メテ必要ナ事デアアルト云フコトヲ吾々モ信ズル者デアリマス、併ナガラズノ如キ問題ハ、國民ノ文化ガ進歩致シマシテ、道德品行ガ向上致シマスレバ、斯ノ如キ法案ハ不用ニ屬スベキ性質ノモノデアルト吾々ハ確信シテ居ルノデアリマス、今日ハ御承知ノ如ク我が帝國ノ文化ハ、明治大帝ノ御治世ニ相成リマシテ、此六十年間ニ世界列國ノ五百年以上ノ經過ヲ迪タ程ノ進歩アリト云フ大家ノ御説デアリマス、吾々モ左様ニ信ジテ居ル者デアリマス、大體私ガ異様ニ感ズル點ヲ概略申上ゲマスル

第二讀會(確定議)

官報號外 昭和二年二月二十七日 衆議院議事速記第十八號 議院法中改正法律案 第二讀會(確定議)

第一讀會

議院法中改正法律案 第二讀會(確定議) 花柳病豫防法案 第一讀會

ガ、此度五十二議會ニ於キマシテハ、政府ハ各種ノ法案ヲ續々御出シニナルノデアリマス、是レ各、重要ナルモノデゴザイマセウガ、私共ノ觀察ヲ致ス所ニ依リマシレバ、彼ノ不良住宅地改良法案ノ如キ、或ハ公益質屋法案ノ如キ、皆是レ社會政策ヲ完全ニ徹底セシムル目的デアリマセウ、而シテ此人類現在ノ社會ニ於テ、利益幸福ヲ招來スル御心持デアリマセウ、此花柳病豫防法案ノ如キモ、畢竟其邊ノ意味モ含マレテ居ルモノト信ズルノデアリマスルガ、斯ノ如キ法案ニ於キマシテハ、逐次累年、是ヨリ以後豫算ヲ多大ニ伴ヒマスル法案デアリマス、唯、單ニ法律ト云フモノヲ出シ置イテ、サウシテ其法律ノ效果ニ於テ完全ニ其成績ヲ擧ゲルト云フコトハ、是ハ不可能ナルモノデアリマシテ、且ツ多大ナル豫算即チ金ガナクテハ、其目的ト云フモノハ完成セラレナイト云フコトハ、是ハ明カナル事實デアアル、不良住宅地改良法案ノ如キモ、先ヅ六大都市ニ之ヲ行ウテ、漸次都會地ニ之ヲ行ウテ、遂ニハ一般國民ノ不健全ナ、健康状態ニ副ハナイ所ノ不良住宅ヲモ改良スルノ目的ヲ遂行シナクハナラヌヤウナ事デアリマシテ、蓋シ此法案ヲ完全ニ執行スルト云フコトニ至リマシテハ、將來夥シク國費ト云フモノガ膨脹スルト云フコトハ、是ハ自然ノ事實デアアル、公益質屋法案ノ如キモ矢張同性質ヲ含シ居ルノデアアル、花柳病豫防法ノ如キモ亦私共ハ左様ニ見ルノデアアル、其見マスル所以ハ、此度規定サレテ居リマスル所ノ第三條ニ明ニ書イテアル所ノ——末尾ニ書イテアリマスル經費ノ六分ノ一乃至一分ノ一ヲ補助スルト云フコトデアアル、此經費ヲ國庫ガ補助致シマセヌカレバ、地方ト雖モ申シ財源ニ苦シ、負擔ガ多イノデアリマシテ、之ヲ完成スルコト

ハ出來ナイノデアリマスルカラシテ、要スルニ國庫ガ經費ヲ多大ニ支出シテ、此目的ヲ貫クト云フコトノ手段ニ出デナクハナラヌト云フコトデアリマスルカラシテ、私ハ寔ニ法案自體ノ性質ニ於テハ結構デアリマスルガ、斯様ナ事ヲ申スト御氣ニ入ラヌ方モアリマスカ知ラヌガ、今此内閣ハ最早斷末魔デアラネバナラヌト思フノデアアル（ソレガ）ソレガ斯ノ如キ法案ヲ澤山、澤山御出シニナシテ、後デ此始末ヲ致ス所ノ政治家ハ、又ヤレ經費ガ膨脹シタ、經費ガ膨脹シタト云フヤウナル誤ヲ受クルト云フノ已ムヲ得ザル、茲ニ濫觴ヲ澤山ニ作ルト云フ疑ガ吾々ハアルノデアリマス、併シ亞米利加ノ如ク黃金國デアリマシテ、歳入ガ何時デモ餘リテ國庫ニ溢レ込メカラニ、ソレヲ使フ按配ニ困ルト云フヤウナ國柄ナラバ、此様ナモノヲドシ、オヤリニナルガ宜シウゴザイマスガ、不幸ニシテ我が帝國ハ、他ノ事デハ列國ニ甚シキ遜色ハナイカ知レマセヌガ、何ヲ申シテモ金ノコトハ残念ナガラ今日困ツテ居ル國柄デアアルニ、斯様ニ法律ヲ濫發デハアリマスマイガ、澤山御出シニナシテ、サウシテ之ヲオヤリニナルト云フコトハ、如何ナモノデアリマセウカ、之ニ付テ私ハドウ云フヤウナ御考ヲ持テ居ラル、ノカ、承リタイノデアアル（愚問愚問）「謹聽々々」ト呼フ者アリ、少シク案ノ主體ニ入ッテ今度ハ御尋致シマスガ、第三條ノ規定ニ依リマスレバ、經費ノ六分ノ一乃至二分ノ一ヲ補助ス」ト云フコトガ書イテアリマス、此經費ナルモノハ「花柳病傳播ノ虞アル者ヲ診療セシムル爲中又ハ特ニ必要ト認ムル其ノ他ノ公共團體ニ對シ診療所ノ設置ヲ命スルコトヲ得」ト云フ其費用ノコトデアラウト信ズルノデアリマス、然ルニ此第三條ノ規定ハ「經費ノ

六分一乃至二分ノ一ヲ補助ス」ト書イテアルノデアアル、之ヲ普通ノ常識ヲ以テ解釋ヲ致シマスルト云フト、經費ノ六分ノ一デアレバ、六百圓ト見レバ百圓デアルガ、二分ノ一トスレバ六百圓トスレバ三百圓デアアル、斯ウ云フコトハ明ニ普遍的ニ之ヲヤルト云フコトニ致シテ置キマセヌト云フト、後日之ヲ受クル所ノ方面ニ於テハ、非常ニ私ハ諸種ナ議論ガ起リテ來ハセヌデアラウカト心配スルノデアリマス、之ニ付テ此區別ヲ明細ニ實例ヲ以テ示サレタイト思フノデアリマス（實例ハナイ）ト呼フ者アリ、實例ハ追々出來ルノデアアル、第二條ニ規定シテアリマス所ノ「業態上花柳病傳播ノ虞アル者」云々ト云フコトガアル、是ハ甚ダ字義明白ヲ缺キマスルケレドモガ、此業態上ト云フ文字ハ例ヘバ娼妓、酌婦或ハ旅館ノ女中ト云フヤウナ者マデモ包含スルノデアアルヤ否ヤ、業態上ト云フ文字ハ是ハ如何ニ常識ヲ以テ解釋ヲ致シマシテモ、甚ダ不分明ナル文字デアアル、此業態上ト云フ文字ハ、立法トシテ用ユベキ文句ト致シマシテハ、モウ少シ其區分ヲ明瞭ニ書イテ置キマセヌト云フト、甚ダ私ハ困リハセヌカト思フ、現ニ吾々ノ知り得ル所ニ依リマスレバ、今日ニ於テモ警察犯處罰令ト云フヤウナモノガアリマシテ、府縣ノ警察ニ於キマシテ旅館ノ女中見ヤウナ人、若クハ之ニ類スル人達ヲ警察ニ喚出シマシテ、之ヲ強制的デハアリマスマイ、其人ノ承諾ヲ得テ、身體検査ヲスルト云フコトデアアル、是ハ大人シタ身體検査ニ應ズルカラ宜シイデアリマセウガ、私共ナラバ容易ニ應ジ難イノデアアル（笑聲起ル）アナタ方ハ聽カザラント欲スレバ彼方ヲ向イテ居ラシヤイ、今日ニ於テモ人權蹂躪ノ虞ノアル事情ヲ吾々ハ承シテ居ル、洵ニ男子ニ致シマ

シテモ婦人ニ致シマシテモ、貴重ナル部分ト云フモノハ、是ハ親ニモ見セヌ大事ナモノデアアル、之ヲ眇タル一警察官若クハ警察醫ノ如キ者ガ、本人ニ強制的デハナイニシテモ、任意承諾ヲ求メタトハ云ヒマシテモ、斯様ナルコトヲ致スト云フコトハ、私ハ日本ノ如キ文明國トシテ甚ダ悲ムベキ事デハナイカト思フノデアリマス（拍手）所ガ此花柳病豫防法ト云フモノノ精神ヲ御履行ニナルト云フ時ニハ、必ズ今申上ダタヤウナ事例ヲ徹底のニオヤリニナル時代ガアルデアラウト思フ、是レ甚ダ吾々ハサウ云フヤウナ業態ノ人方ニ向ッテ、非常ニ此立法ノ上ニ於テ考慮センナラヌコトデアアルト信ズルノデアリマス、此邊ハドウ云フ御取扱ニナルモノデアリマスカ、又第五條ノ御規定ニ依リマスレバ、私共法律ト云フコトニ付テハ暗イ者デアリマスルガ、此法文ヲ大體ニ於テ考ヘテ見マスルト云フト、法文ノ趣旨ガ甚ダ妥當ヲ缺クモノガアルト思ハレルノデアアル、第五條ノ「傳染ノ虞アル花柳病ニ罹レルコトヲ知りテ賣淫ヲ爲シタル者ハ三月以下ノ懲役ニ處ス」ト云フコトガアリマスガ、賣淫ナドト云フ文字ハ、最早帝國ノ如キ文化向上ヲ致シタ國ニ於テハ用ヒズシテ、之ニ代ル好字面ガアリ、又好字面ガアルデハナイカ、然ルニ何故ニ賣淫ト云フヤウナ強烈ナル文字ヲ用ヒラレタノデアアル、是レ甚ダ吾々ハ解釋ニ苦ムノデアアル、又之ヲ罰スルノハ歐米先進國ト雖モ體刑ヲ用ヒズシテ、大抵罰金刑ヲ以テ之ヲ處理シテ居ルヤウニ吾々ハ承シテ居ルノデアアル、然ルニ此度ノ立法ヲ拜見致シマスルト云フト、非常ナル重刑ニ處スル、即チ體刑ニ處スル、身體ヲ拘束スル、即チ三箇月以下ノ懲役ニ處スルノデアリマスルガ、斯様ナ嚴罰ニ處スルト云フ理由ハ、今日ノ進歩セル

國情ニ私ハ伴ハヌコトデハナイカト信ズルノデア(拍手)斯様ナ嚴罰主義ニ今日ニ於テ、立法セナケレバナラヌト云フ大理由何レニ在リヤト云フコトヲ、明ニ御前ヲ願ヒタイノデア、殊ニ此第五條ノ第二項ニ於テ「賣淫ノ媒合又ハ容止ヲ爲シタル者ハ六月以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス」ト云フコトガアル、サウスルト云フトハ六月以下ノ懲役ニ處セラル、ノデア、勿論六箇月以下デアリマスルケレドモ、最極刑ハ六月ノ懲役ニ處セラル、ノデアリマス、所ガ此賣淫ノ媒合トカ容止ト云フヤウナコトヲ爲スト云フコトハ甚ダ文明國人ノ恥ヅルコトデアアルガ、左様ナコトヲ殘念ナカラ致ス者ガアツタ時ニ、是ハ寧ロ私共ハ金ヲ取テ淫ヲ齋ガントシタ者デアルカラシテ、金刑ニ處シタ方ガ本人ニ於テモ是ハ引合ハナイノミナラズ(笑聲)非常ニ困ノデアアルカラシテ、之ヲ是非共體刑ニ處セネバナラヌト云フ法理ノ原則ハ何處カテ御考ニナツタモノデアアルカ、之ヲ承リタイノデアリマス、ソレカラ第六條ノ御規定デアリマス、之ニ於テモ文理甚ダ面白クナイ「醫師傳染ノ虞アル」ト云フヤウナ文字ニナツテ居ル、醫師ノ下ニ「コンマ」ガアツテ醫師ガトカ、醫師ニシテトカ書クベキ所ト思ヒマス、併シ是ハ分リマスガ「醫師傳染ノ虞アル花柳病ニ罹レル者ヲ診斷シタルトキハ傳染ノ危險及傳染防止ノ方法ヲ指定スベシ」ト云フ御規定デアアル、是ハ寧ロ醫師法ニ於テ御制定ニ相成ルベキ筋合ノモノデアラネバナラヌト私共信ズルノデアアル、又今日ト雖モ賢明ナル醫師、善良ナル醫師ハ、此恐ルベキコトデアルト云フヤウナコトハ患者ニ向テ丁寧深切ニ指示、説示、訓示

致シテ居ルト云フ事實ヲ吾々ハ承テ居ル、後刻何レ此邊ハ專門家タル宮島幹之助博士ガ詳細ニ御説明ニ相成ルト思ヒマスガ、私ハ斯ノ如キ法ヲ花柳病豫防法ニ持テ來テ、醫師ニ對スル規定ヲ御出シニナルト云フヤウナコトハ、是ガ私ハ僅カ六條カソコラノ單簡ナル法デアアルケレドモ、立法ト云フ上ニ於テ專門家ガオヤリニナツタトスレバ、私ハ餘程不手際ナル立法ト云ハザルヲ得ヌノデアリマス、是レ如何ニ御考デアリマスカ、ソレカラ又附則ト御規定ニナツテアリマスル所ニ「本法施行ノ期日ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ各條ニ付テ之ヲ定ム」トアル、是ガ又普通ノ立法例ニ於テ、吾々寡聞ニシテ知り得ナイコトデアアル、僅カ六條シカナイ所ノ法律ヲ條項毎ニ勅令ヲ以テ之ヲ定メテ、御執行ニナルト云フヤウナコトハ、海ニ私ハ法ヲ立ツル上ニ於テハ更ニ構ヒマスマイガ、此法ノ執行ヲ受ケテ、其完全ナル花柳病豫防ト云フコトヲ爲ス上ニ付テハ、甚ダマドロシイ感ガアルノデアリマシテ、是ハドウ云フ譯デスノ如ク各條ニ付テ一一條項毎ニ勅令ノ發動ヲ一々別ニ爲サルト云フ御規定ハ、何ノ必要ガアツテ斯様ナル附則ヲ御作リニナツタノデアアルカ、私ノ解スルニ苦ム所デアリマスカラ、之ヲ御前ヲ願ヒイタト思ヒマス、要スルニ私トシテハ斯様ニ感ジテ居ルノデアアル、今日ハ一般ノ人ガ非常ニ文化ハ向上シ、文明モ昔ノ人ニ比シテハ餘程進歩致シテ居ルノデアアル、又道德ノ點ニ於テモ、道德廢頹ト云フ話ガアリマスケレドモ、一般ニ於テハ道德ガ廢頹シタトハ吾吾ハ認メヌノデアアル、矢張順次々々進歩發展向上ノ域ニ赴キツ、アルト私ハ信ズル者デアリマス、斯様ナコトハ法ニ依ツテ之ヲ

非常ニ嚴罰主義ヲ採テ取締ルト云フヨリモ、寧ロ教育衛生、殊ニ性ノ教育ト云フコトヲ近來女學校等デモヤカマシク言ウテ居ル、是レ一步過テバ甚ダ恐イ性ノ教育モ出來セウガ、此花柳病ノ恐ルベキコトノ如キハ、先天の微毒ト云フヤウモノ、爲ニ盲目ニナルトカ、或ハ啞ニナルトカ、或ハ聾ニナルトカ云フコトモ、大抵先天の微毒ト云フモノガ過半デアリ、發狂ト云フヤウナコトモ殆ド先天の微毒カラ來ルモノダサウデアリマシテ、今日多少トモ文字、素養ノアル者ハ非常ニ斯ウ云フコトヲ慎ンデ居ル、然レニ近時ニ至テ突如トシテ政府ハ斯ウ云フ提案ヲ爲サネバナラヌト云フコトニナツタノハ、私ノ考デハ斯ウデハナイカト思フ、歐羅巴ノ物質教育ト云フコトガ、餘リニ我國ニ盛ニナツタ爲ニ、東洋ニ從來傳テ來テ居リマシテ、西洋ノ及バナイ所ノ東洋の道德即チ佛教トカ、儒教トカ、神教ニ於テ海ニスガ(シク清潔ニ、男女室ニ居ルハ人ノ大倫ナリ、男女七歳ニシテ席ヲ同ジウセズト云フヤウナコトヲ原則トシテ、道德トシテ最モ良イ事デアアルニモ拘ラズ、之ヲ歐羅巴人ノ如ク男女交際ヲ激甚ニヤリ、或ハ先日ノ如キ諒闇中ナルニモ拘ラズ、或ル華族様ハ舞踏會ヲ爲サツタト云フヤウナ極端ナル事ガアルカ、斯様ナコトヲ致シ居リマシテ、男子ト女子ガ接觸ノ場合ヲ頻繁ニ致シ居ルト云フ爲ニ、斯様ナ不品行ナコトガ出來テ來ルノデアアツテ、今日ト致シマシテハ寧ロ東洋ノ道德主義ヲ高調シ、更ニ之ヲ一般ノ國民習慣ノ上ニ徹底的ニ教育ヲ致シタナラバ斯ノ如キ豫防法ト云フヤウナモノヲ御出シニナルヨリカ、其方ガ根本的ノ效果ヲ擧グル

モノデアナイカト、私共ハ深クサウ云フヤウニ考ヘテ居ル者デアリマス、何様今日迄モ當局ニ於テハ、御取締ノ方法ハ色ミナコトヲ御考ニナツタデアリマセウガ、此際斯ノ如キ法案ヲ何所迄モ御出シニナツテ、六箇月以下ノ懲役ニ處スルトカ、或ハ賣淫ヲ爲シタル者ハ三箇月以下ノ懲役ニ處スルト云フヤウナコトニ致シマシテモ、是レ其人ヲ罰スルノデアリマセウガ、又一方ニ淫行ヲ爲シタル男子ヲモ罰セナケレバ、社會ニ此病毒ヲ流ス虞ガアルノデアアル、女子ニモ不品行ナガアルケレドモ、男子ノ方ノ不品行ノ人ガ私ハ日本ノ社會ニ於テハ多イト信ズルノデアアル、男子ノ不品行ヲ取締ラズシテ、女子ノミヲ斯ノ如ク取締ラスルト云フコトハ、私ハ是ハ甚ダドウモ女子ニ對シテハ酷デハナイカト信ズルノデアアル、是ハオカシイヤウニ考ヘマスルケレドモ、吾々ノ知ル所ニ依リマスレバ、品行ヲ嚴正ニ慎マヌ男子カラ、花柳病毒ヲ與サンヤ、何カマ受ケマシテ、實ニ慘劇タル、慘目ナルコトニ陥テ居ル人ヲ吾々ハ指摘シ得ルノデアリマス、斯ノ如キ法案ヲ御出シニナル以上ハ、此邊ニモ留意シテ相當ナル方法ヲ御研究ニ相成ツテ規定セザレバ、決シテ是ハ單ニ接客業者トカト云フヤウナ人ノミニ嚴重ナル法律ヲ施行致シマシテモ、マダ其原因ヲ爲ス一方ノ方ニ弊害ガアル以上ニ於テハ、容易ニ此法案ノ目的ヲ貫徹スルコトヲ得ナイト思フ、此議場ニ於テハ遠カラズシテ公相廢止ニ關スル所ノ法案モ、各派ヨリ御提案ニ相成ルト思ヒマス、誠ニ理想トシテハ吾々ハ隨喜渴望スルノデアアル、苟モ日本帝國位ニ進歩セル國ニアツテ、公相制度ガアルナドト云フコトハ、言語道斷ナ恥ヅベ

キコトデアアルケレドモ、又實社會ヲ通觀致シマスト已ムヲ得ナイ事情ガアルノデアツテ、吾々ハ決シテ左様ナモノヲ要求致シマセヌ、併シ左様ナモノヲ實社會ニ於テ要求スルノ已ムヲ得ザル程度ヲ國民ガ辿リツ、アルト云フコトヲ知ラネバナラヌ、ソレデアリマスカラ、苟モ法ヲ立テル者ハ斯ノ如キコトニハ極メテ鄭重ニ考慮致シテ行ヒマセヌケレバ、其目的ト云フモノヲ達シナイト信ズルノデアリマス、故ニ以上ノ質問ヲ爲ス所以デアリマス

〔政府委員俵孫一君登壇〕

○政府委員(俵孫一君) 吉良君ノ各事項ニ涉ツテ御質問デアリマシタガ、御答辯ヲシマスニ付キマシテハ、便宜上一般ニ關スル御質問ニ對スル御答ト、各條ニ涉ル所ノ御質問ニ對スル御答ト、二ツニ分ケテ御答ヲシタ方ガ適當デアラウト存ジマス、一般問題ト致シマシテハ斯ウ云フ法案ガ何故必要デアルカ、斯ウ云フ立法ヲシナクテ他ニ何等カ適當ノ方法ハナイカドウカト言ハル、コトガ、大體ノ御趣意デアッタヤウデアリマス、此法案ハ決シテ新シク今日出マシタ問題デアナイノデアリマス、多年ノ間花柳病ノ傳播ニ付キマシテハ、何トカ之ニ對スル取締法ヲ設ケンケレバイカヌト云フコトハ、識者ノ間ニ長ク廣ク論ゼラレテ居タ問題デアアルノデアリマス、即チ昨年ノ議會ニ於キマシテハ、花柳病豫防法ニ對スル所ノ制定ノ建議スラ當院ヨリ提出サレ、可決確定セラレタヤウ十次第デアアルノデアリマス、花柳病ニ付キマシテハ法案ノ説明ノ時ニ申上デマシタ如ク、單リ現在ニ於テ其病者ガ困難ヲ訴ヘルノミナラズ、遺傳性ヲ持ツ所謂子孫後裔ニマデ害毒ヲ流スト云フ洵ニ怖ルベキ病毒デアリマスノミナラズ、

現今ノ趨勢ヲ申上デマスルト云フト、或ハ體格検査ノ實踐ニ依ツテ見マシテモ、或ハ其他ノ公ニ現ハレテ居ル數字ニ依ツテ見マシテモ、花柳病ノ統計ハ約千中ノ十九四乃至五ニ涉ツテ居ルガ如キ、中ニ全般ニ廣ガツテ居ル怖ルベキ病毒デアアルコトハ御承知ノ通りデアリマス、ソレ故ニ之ニ對シテハ何等カ茲ニ立法ヲシテ、之ガ病毒ヲ傳播ヲ防ギ、以テ吾人ノ幸福ヲ進メルト云フコトニ致シタイト云フコトハ、今申上デマスガ如ク決シテ今日ニ出タ問題デアナイノデアリマス、是ガ一般的、丁度吉良君モ御話ノ如ク、社會政策ニ對スル色々立法ガアリマスト同様ニ、此問題モ目下ノ現狀ニ於キマシテ、極メテ重要ナル法案デアアルコトノ點ヲ十分ニ御承知置キ相成ルコトヲ希望致シタイトデアリマス、ソレデ或ハ此各條ニ涉リマシテ、第三條ノ經費ノ六分ノ一、乃至二分ノ一ト云フノハ、ドウ云フ譯デアアルカト云フ御尋デアリマシタガ、是ハ目下ノ所デハ設備費ニ對シテハ二分ノ一、經費費ニ對シテハ六分ノ一ノ補助ヲ與ヘル豫定デアリマス、此率ハ從來既ニアリマス所ノ結核病豫防及「トラホーム」豫防法ト同率ニ依ツテ居ルノデアリマス、ソレカラ此法案中ニ特殊ノ業態者トアル、ソレハ如何ナル者ヲ指スノデアアルカト云フ御尋デアリマシタガ、是ハ此文字——其他此法案中ニ書イテアル文字ハ、御承知ノ通り誠ニ困難デアアル、併シ此業態上花柳病傳播ノ虞アル者ト申シマスノハ、現在ノ社會通念、社會通有ノ觀念ニ基キマシテ、所謂淫賣ヲ爲ス虞ガ多キモノト認ムベキモノ、具體的ニ申シマスレバ、或ハ藝妓酌婦、斯ノ如キモノヲ意味スルモノデアアル、斯ウ云フモノハ即チ其業態上花柳病ヲ傳播スル虞ガ甚ダ多

キモノデアアル、斯ウ云フコトデアアルノデアリマス、ソレカラ是等業態ニ對シテ或ハ検査ヲ爲ス、是ハ甚ダ人権蹂躪デアナイカト云フ御心配ノ點モアッタヤウデアリマスガ、併ナガラ是ハ吉良君モ仰セノ通りニ強請ハシナイ、任意ニ検査スルノデアリマスカラ、其検査スル者ガ直ニ人権蹂躪ヲ惹起サザルノミナラズ、或ル點カラ申シマスルト、是等ノ人ハ寧ロ自分自ラモ其病毒ガ瘡ル、斯ウ云フコトニ付テハ自分自身ノ幸福モ亦其病毒ガ瘡ルト云フ點ニ於テデアリマスカラ、一概ニ検査スル、即チ任意治療ト云フコトハ其人々ノ人権蹂躪ヲ惹起スト云フコトノ考ハ政府ニ於テハ考ヘテ居リマセヌ、之ニ對シテ如何ナル規定ヲ以テ此検査ヲスルカト云フコトニ付テハ、別ニ命令ヲ以テ定メル積リデアリマス、ソレカラ此法案中ニ淫ヲ嚮ク、賣淫ト云フ文字ガアル、是ハ立法上甚ダ面白クナイ、何等カ適當ナ文字ハナイカト云フ御説、是ハ御九千萬デアリマス、併ナガラ之ニ代ルベキ文字ハ中中困難デアリマス、ソレ故ニ今日先ヅ甚ダ感服ハ致シマセヌケレドモガ、此文字ヲ用フル外ハナイト認メテ居ルノデアリマス、ソレカラ此規定ノ中ニ體刑ガアル、是ガ甚ダ面白クナイ、外國ノ立法ニ於テハサウ云フコトハ無イヤウニ思フト云フコトデアリマシタガ、是ハ吉良君ノ御調ガ如何デアリマセウカ、現ニ獨逸ニ於テハ緊急勅令ヲ以テ、此花柳病豫防法ノ制定ヲシテ居リマシテ、此緊急勅令ノ中ニハ、三年以内ノ體刑ヲ加ヘテ立法サレテ居ルノデアリマス、斯クノ如ク今日現在ノ人ノミナラズ、子孫ニマデモ害毒ヲ流シ、子孫ノ繁榮ヲ妨ゲルト云フガ如キ怖ルベキ病毒ニ對シマシテハ、國家ハ重キ體刑ヲ以テ之ヲ抑止スルト云フコトハ、

已ムヲ得ナイモノデアラウト思フノデアリマス、ソレカラ第六條ニ斯ウ云フコトハ宜シク醫師法ニ於テ規定スベシ、斯ウ云フモノノ規定スルコトハ甚ダ體裁ヲ得ナイト云フコトノ御説ガアリマシタガ、政府ハサウハ考ヘマセヌ、所謂特殊ノ義務ヲ負ハシムルニ付テハ、特殊ノ立法中ニ規定スルコトガ最も便宜デアアル、斯ウ云フ考デアアルノデアリマス、次ニ附則、此ノ附則ニ他ノ立法例ニ無イ、其各條ニ付テ施行期日ヲ決メルト云フガ如キコトハ、如何ナモノデアアルカト云フ御尋デアリマシタガ、是ハ例ヘバ第二條ノ如キ、其特殊診療ノ設備ヲ府縣ノ公共團體ニ命ズルト云フガ如キハ、是ハ直ニ實行シ能ハヌノデアリマス、其他ノ條文ノ如キハ此政府ノ豫算ノ成立ヲ俟テ、其成立ト共ニ之ヲ施行スルコトガ出來ル、其條文ニ依リマシテ此法案ノ施行ノ時期ヲ異ニシナケレバナラヌ必要ガアル、是ハ何レモ財政ノ點カラ來マシタノデアリマス、ソレ故ニ此附則ニ於テハ、他ノ一般立法例ニ依ラズシテ、其條文ニ依ツテ施行期日ヲ決メルト云フコトニ致シタ次第デアリマス、最後ニ此法案ノ目的ハ女子デアアル、何故ニ男ニ付テハ何等カ規定ヲ設ケヌカ、片手落デアナイカト云フ御尋デアリマシタガ、此法律案ハ決シテ女子ニ限テハ居リマセヌ、即チ淫ヲ賣ル者、是ガ男子デアレバ矢張此法律ニ該當スルノデアリマス、唯、問題ハ淫ヲ賣ル者ニアラズシテ、淫ヲ買フ者ハドウカト云フコトノ多分御尋デアアルカ知リマセヌデアリマスガ、是ハ先ヅ現狀ニ於テハ、淫ヲ買ハントスル者ニ對スル所ノ制裁ヲ作ルト云フヨリハ、先ヅ淫ヲ賣ル者ニ對シテ十分花柳病豫防ノ方法ヲ講ズルコトガ、最も目下ノ現狀ニ於テ必要デアマ

ト、斯ウ政府ハ見テ居ル譯デアリマス
 ○砂田重政君 本案ニ對シテハ、尙ホ多數ノ質議通告者ガアリマスルガ、既ニ定刻ニ近付キマシタカラ、本日ハ此程度ニ止メ、次回ニ繼續スルコト、シテ、殘餘ノ日程ト共ニ延期セラレンコトヲ望ミマス
 〔「異議ナシ」贊成ト呼フ者アリ〕
 ○議長(粕谷義三君) 砂田君ノ動議ニ異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、次回ノ日程ハ公報ヲ以テ御通知申上デマス、本日ハ是ニテ散會致シマス
 午後五時五十一分散會

衆議院議事速記録第十一號中正誤

頁 段 行 誤 正

一七八 一 現ニ地區内 現ニ其ノ地區内

衆議院議事速記録第十七號中正誤

頁 段 行 誤 正

三三四 一 一 二 發議 發言

三四七 三 六 二十一日 十二日

三四九 二 五 ナイト考ヘ デアメント考ヘ

